

第4章：町民の生活交通に関する意識

1. 住民アンケート調査

1) 住民アンケート調査の実施概要

(1) 調査の目的

本町に暮らす町民が日常的に使用している移動手段の状況や、家庭における移動のあたり、今後の移動手段確保策に対する不安などを把握することを目的とした調査。

(2) 対象者

令和元年 7 月 31 日時点で本町に住所を置く 18 歳以上の町民から、無作為に抽出した 3,504 人

(3) 調査の実施方法

アンケート調査票に調査の主旨をまとめた依頼文書と返信用封筒を添えて、郵送により実施。

(4) 実施スケジュール

8 月 5 日	窪川郵便局及び大正郵便局より、対象者にアンケート書類一式を発送
8 月 30 日	依頼文書にはこの日を締め切り日として記載した。ただし入力作業中に到着した分は締め切り後も有効回収数として処理した。(最終有効票は 9 月 30 日到着分)
9 月 30 日	最終締め切り

(5) 回収数と回収率

発送数		3,504 票	回収数	
窪川地域	2,653 票		窪川地域	844 票
大正地域	429 票		大正地域	154 票
十和地域	422 票		十和地域	133 票
			地区不明	1 票
			1,132 票	

回収率		
窪川地域	31.8%	32.3%
大正地域	35.9%	
十和地域	31.5%	

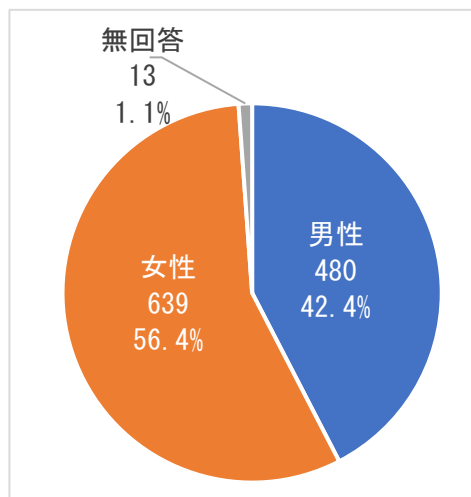
宛名不明等による返却が計 26 票（窪川：19、大正：5、十和：2）

次頁より、アンケート調査結果をとりまとめる。

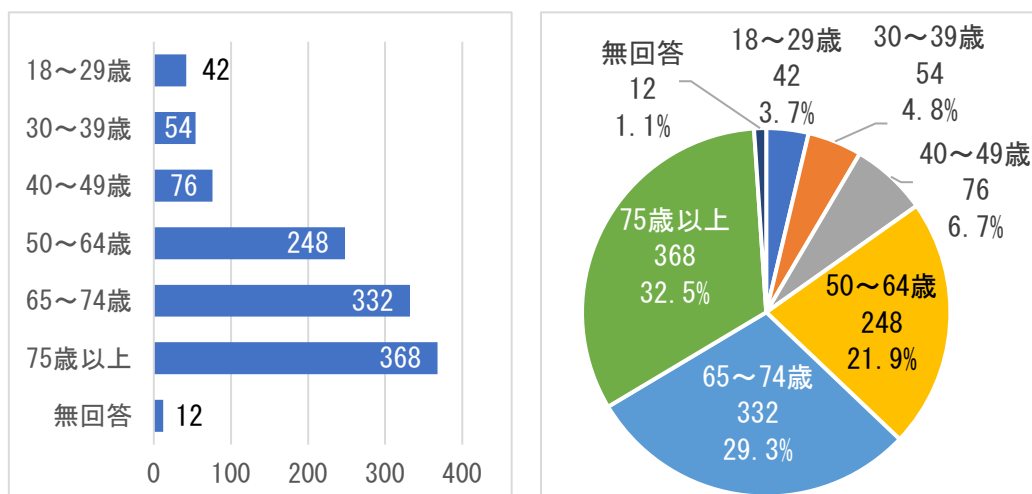
2) 回答者の概要

(1) 回答者の属性 1 (性別・年齢層・居住地域)

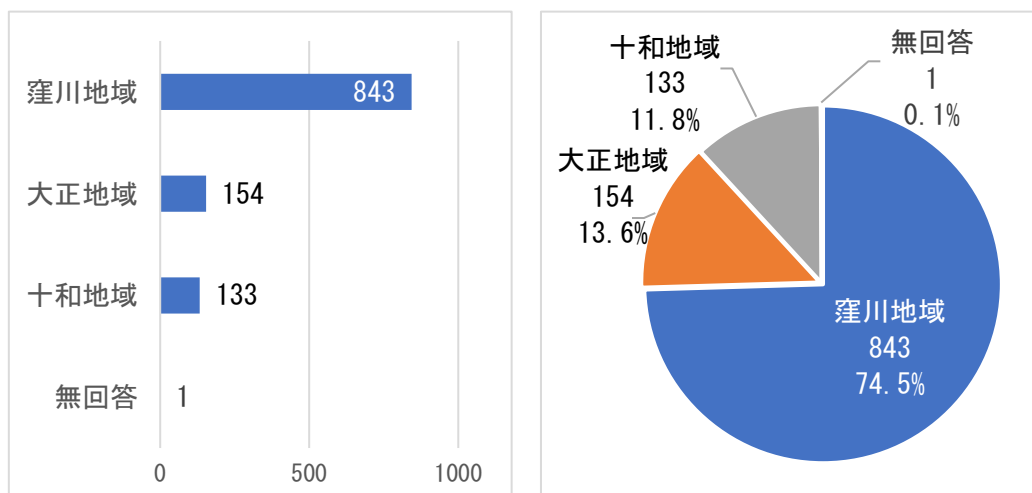
図：回答者の性別



図：回答者の年齢層

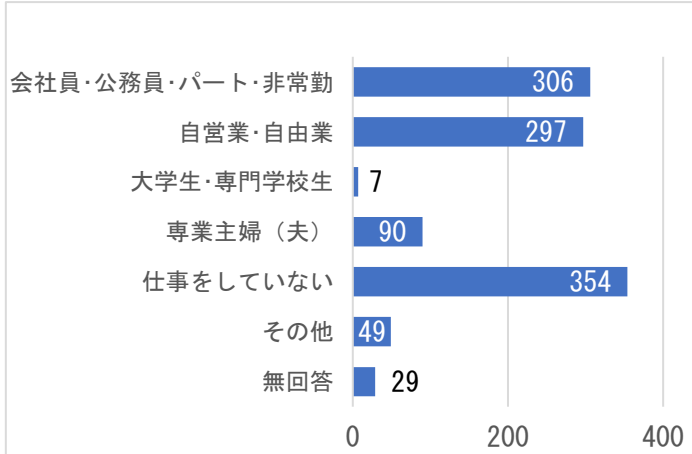


図：回答者の住まいの地域



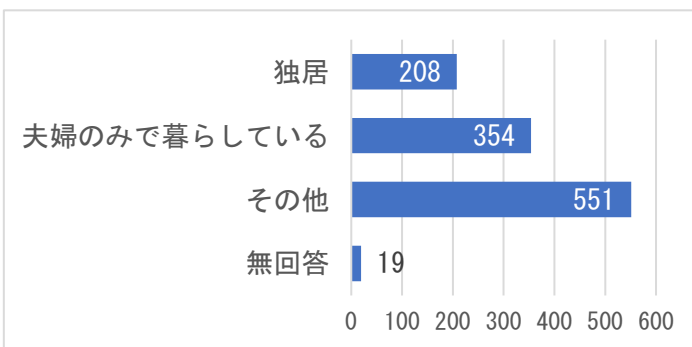
(2) 回答者の属性 2 (職業・家族)

図：回答者の職業



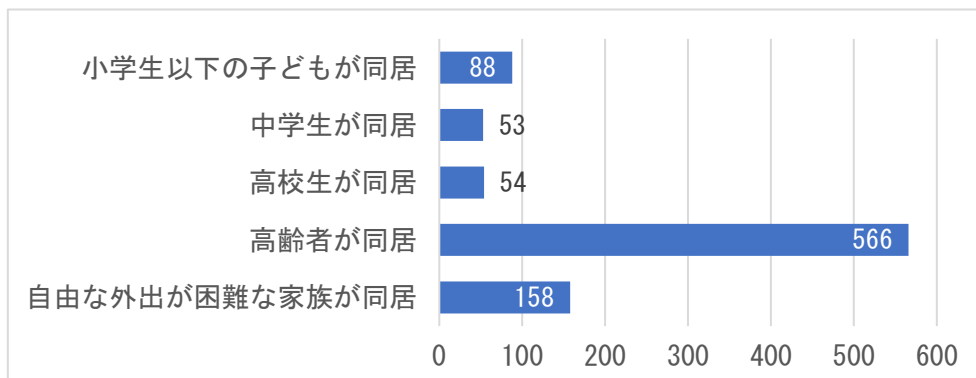
- 【その他】**
- ・地域のボランティア (有料)
 - ・作業所
 - ・自宅用の野菜などを作っている
 - ・林業
 - ・シルバー人材センター

図：家族構成



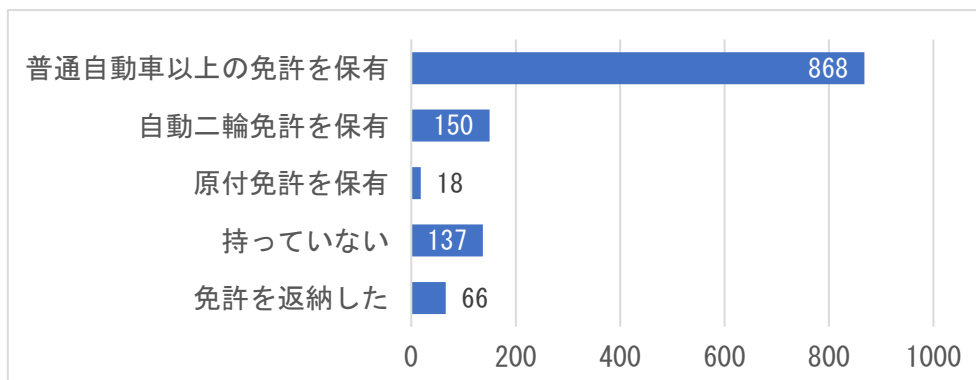
- 【その他】**
- ・母と同居
 - ・兄と同居
 - ・娘と同居
 - ・息子夫婦と同居
 - ・息子家族と同居

図：同居家族の概要 (複数回答可)

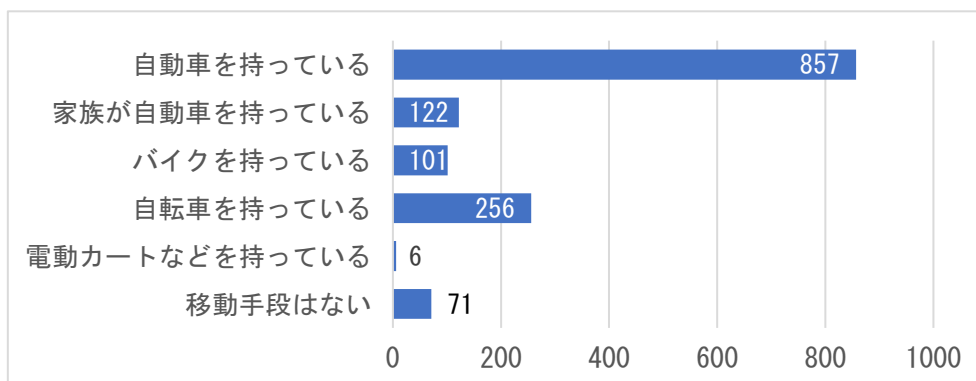


(3) 回答者の属性3 (回答者の移動手段)

図：所持する運転免許証 (複数回答可)



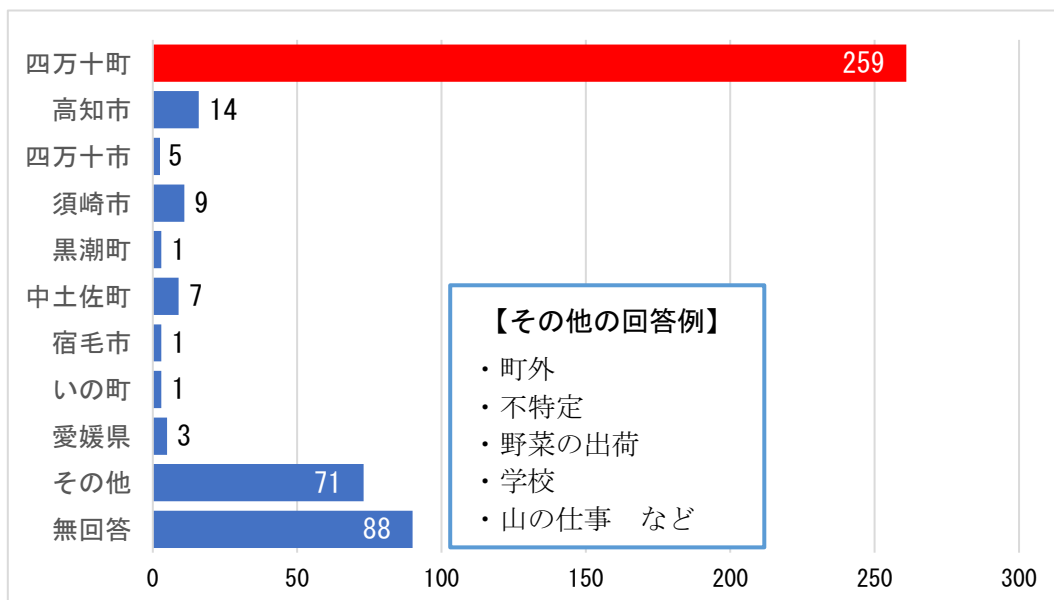
図：所有する移動手段 (複数回答可)



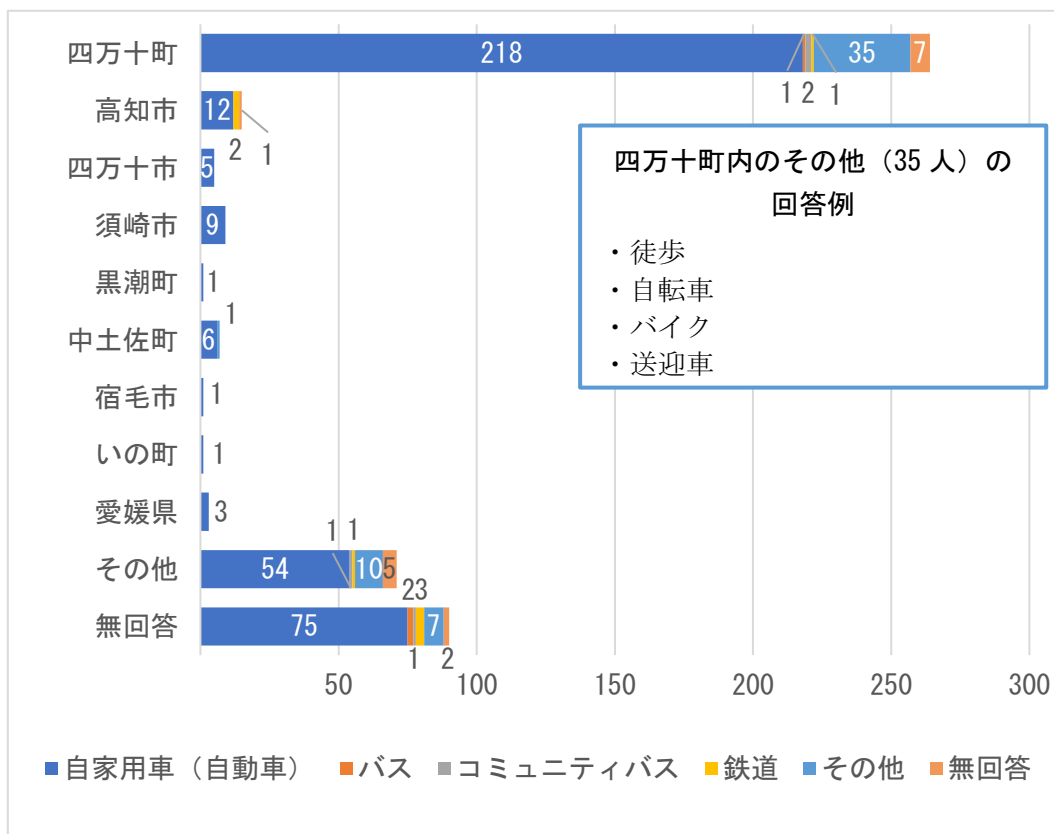
3) 回答者自身の日常の移動について

(1) 通勤

図：通勤の目的地のある自治体

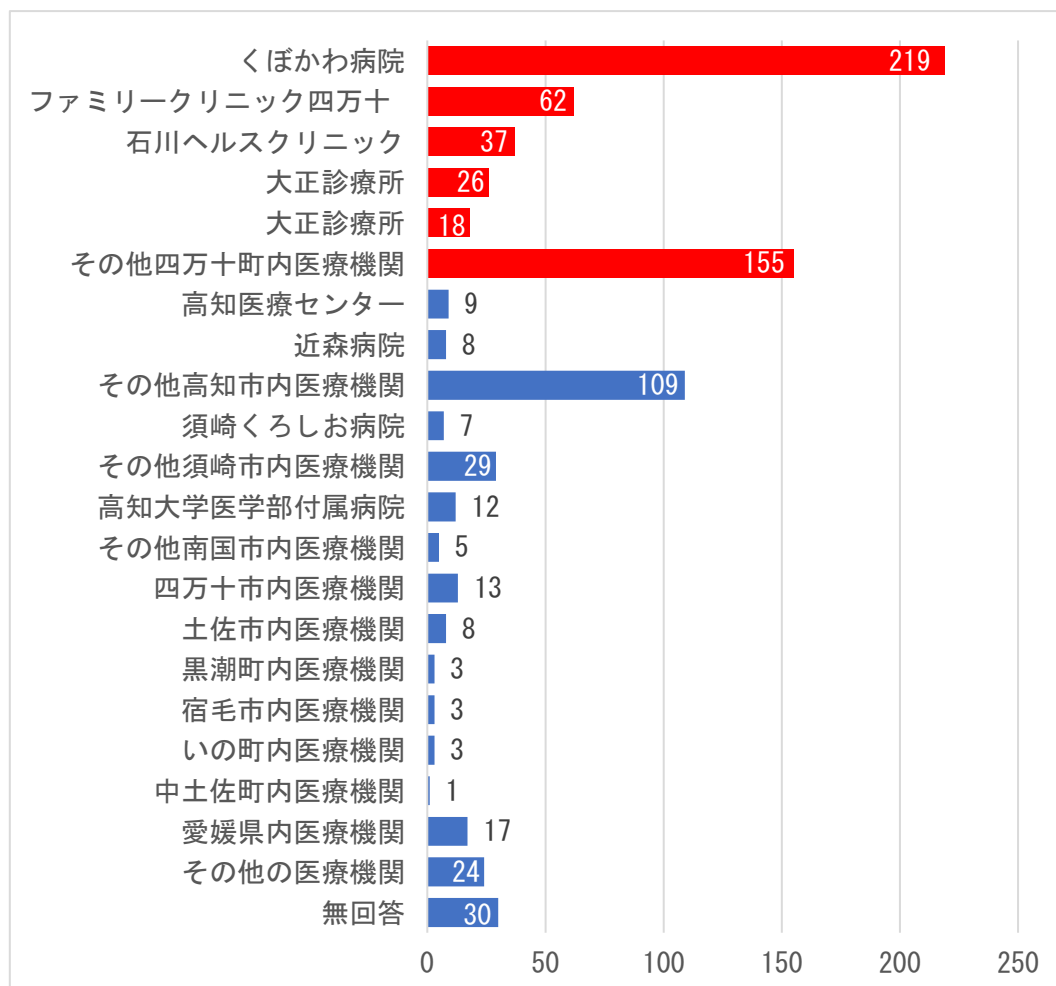


図：通勤の目的地とその移動手段

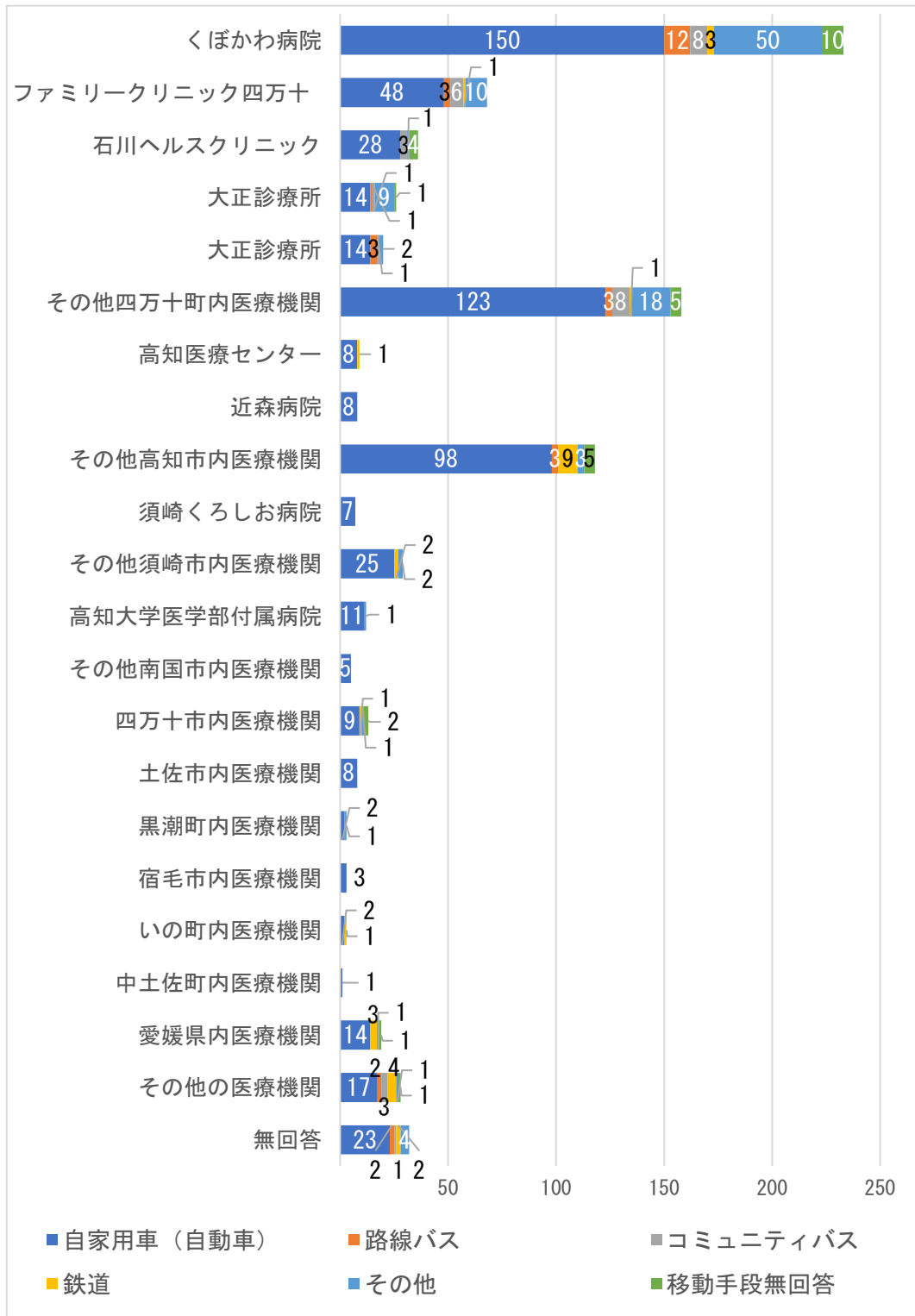


(2) 通院（複数回答）

図：よく行く病院施設



図：よく行く病院施設への移動手段



(3) 通院にかかる時間の比較

「独自の移動手段を持つ人（以下：持つ人）」と「独自の移動手段を持たない人（以下：持たない人）」の移動時間を含めた通院にかかる時間を比較した。

「持つ人」は午前中から午後まで比較的幅広い時間帯に通院しているが、「持たない人」は大部分が午前中に固まっている。午後にも少しであるが通院している。

表：持つ人の通院にかかる時間

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

通院	出発	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	不定期	無回答
帰着	人 人	3	13	59	127	123	42	18	10	32	22	20	12	4	1	18	99
8時	2		1	1													
9時	11			1	5	5											
10時	42		1	6	18	15	2										
11時	90	1	1	10	29	33	15	1									
12時	94		4	12	23	37	9	9									
13時	37			3	9	13	10	2									
14時	40	1		12	11	8	2			6							
15時	40	1	1	3	13	5			3	10	2	2					
16時	45		1	2	6	4	1	3	2	8	12	6					
17時	45		2	4	6	1		2	2	4	4	10	8	2			
18時	17			3	4		1		3	1	3		2				
19時	7			1								2	2	1	1		
20時	2													1			
21時	2		1							1							
不定期	30		1	1	3	2	2	1		1	1					18	
無回答	99																99

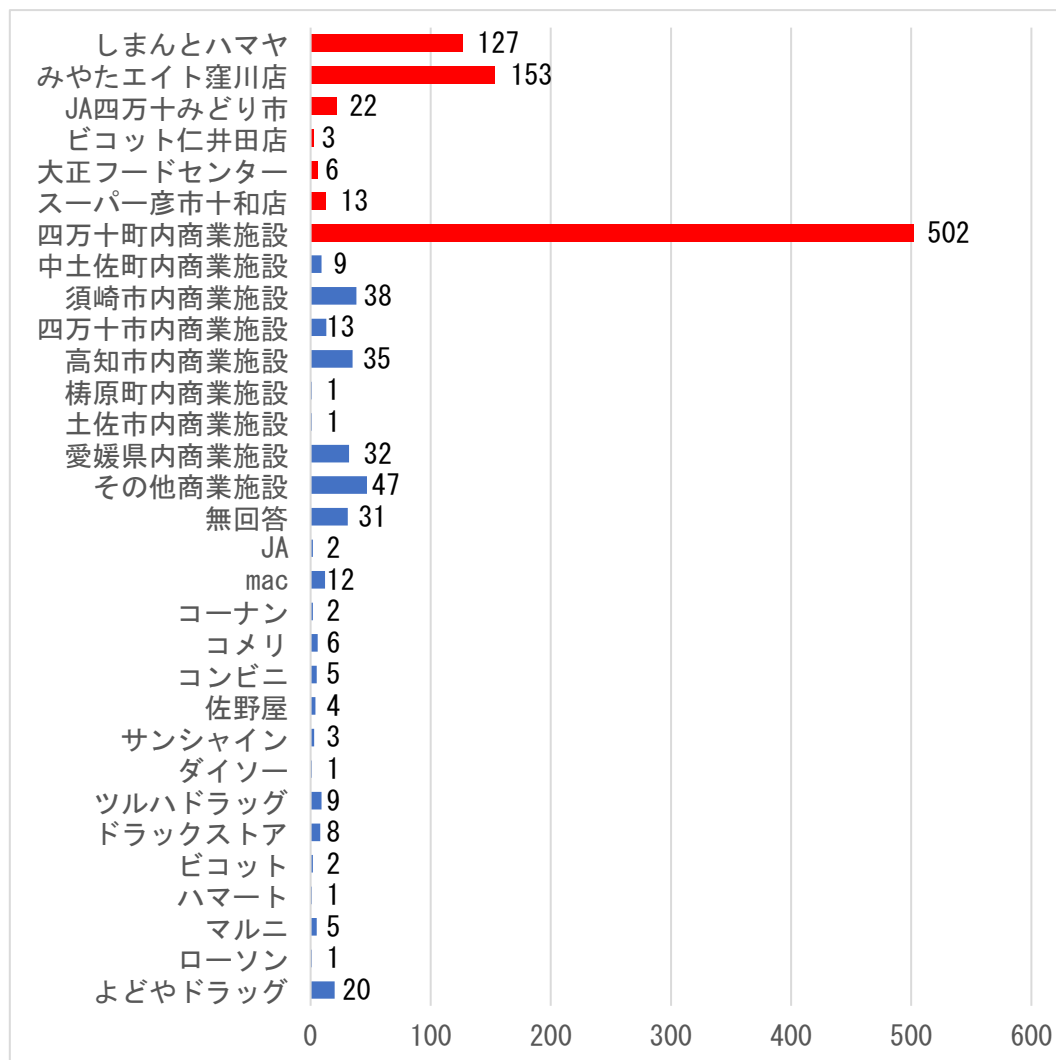
表：持たない人の通院にかかる時間

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

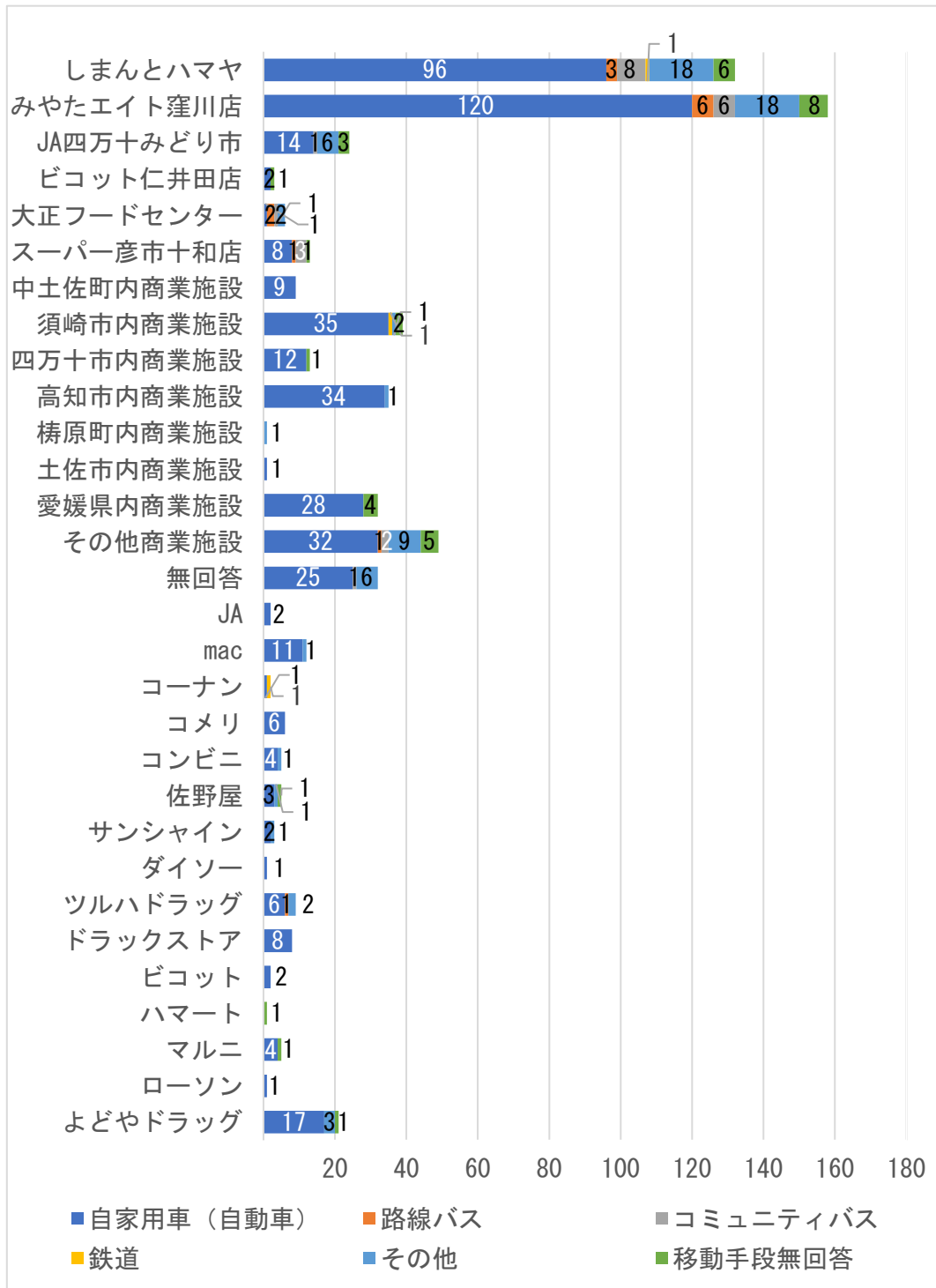
通院	出発	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	不定期	無回答
帰着	人 人		3	19	57	50	9	3	2	9	3	1				6	34
8時																	
9時	1					1											
10時	15			1	12	2											
11時	26				11	13	2										
12時	29			1	8	16	4										
13時	27		1	2	14	9	1										
14時	15			6	5	2		1	1								
15時	11			1	3	2				2	2					1	
16時	15			2	4	3		1		4	1						
17時	8		1	2		1		1	1	1		1					
18時	4			4													
19時																	
20時	1		1														
21時																	
不定期	10					1	2			2						5	
無回答	34																34

(4) 買い物（複数回答）

図：よく行く商業施設



図：よく行く商業施設への移動手段



(5) 買い物にかかる時間の比較

「独自の移動手段を持つ人（以下：持つ人）」と「独自の移動手段を持たない人（以下：持たない人）」の移動時間を含めた買い物にかかる時間を比較した。

「持つ人」は午前中から午後まで比較的幅広い時間帯に出かけていることがわかる。一方で「持たない人」は午前中に買い物に出る人が多いものの、午後や夕方にも小さなピークが見られる。

「持つ人」の移動時間を含めた買い物にかかる所要時間を見ると、比較的長い時間外出傾向にある人がいることから、遠出をしていることも考えられる。

表：持つ人の買い物にかかる時間

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

買い物	出発	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	不定期	無回答	
帰着	人	1					10	29	123	150	37	15	49	48	37	32	59	21	5		1	78	217	
9時	4								3	1														
10時	52							4	38	7														3
11時	105						5	4	35	55	5													1
12時	92						2	4	22	43	19	1												1
13時	34						1		8	13	5	6	1											
14時	31							1	4	11		1	14											
15時	48							2	6	6	1	1	16	10	5									1
16時	78						1	6	2	6	1	2	12	21	21	5								1
17時	74	1						3	4	4	3	3	3	9	8	24	11							1
18時	57						1	1	3	2		1	1	5		1	35	3						4
19時	32										1	1			1	1	9	16	3					
20時	11							1		1	1		1	1		1	3	1	1					
21時	5								1	1								1	1				1	
不定期	72									1				2	2		1							66
無回答	217																							217

表：持たない人の買い物にかかる時間

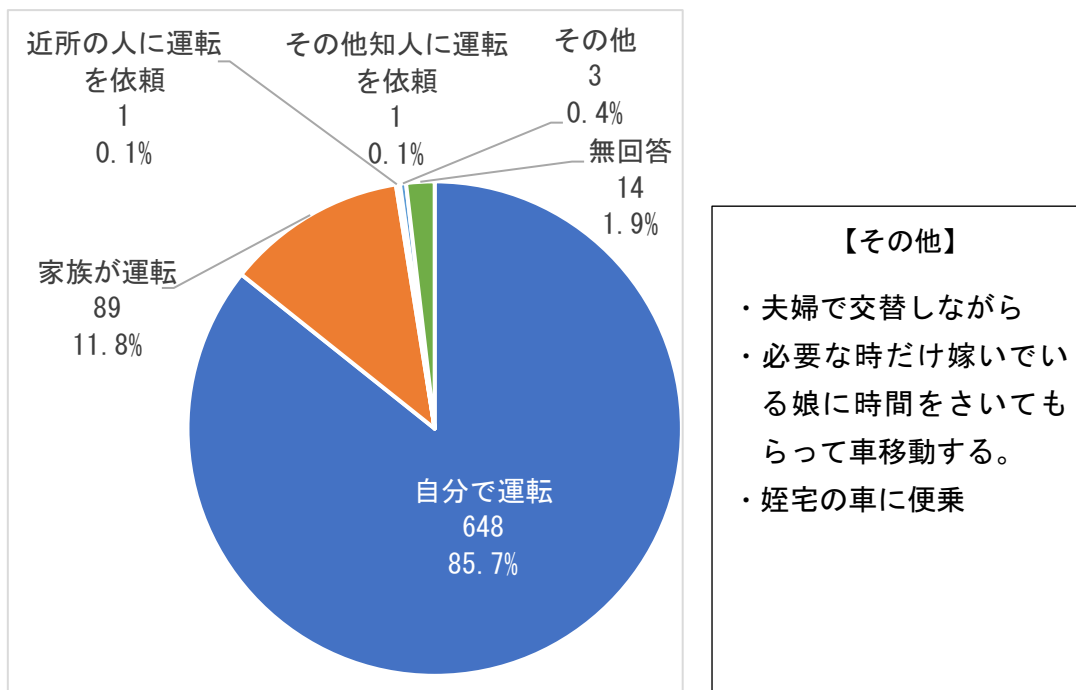
[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

買い物	出発	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	不定期	無回答	
帰着	人						5	10	24	41	12	7	14	8	5	8	1	2	1				12	53
9時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10時	19	0	0	0	0	0	0	0	7	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時	21	0	0	0	0	0	0	0	5	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12時	22	0	0	0	0	0	0	3	4	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13時	15	0	0	0	0	0	3	0	1	2	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14時	8	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15時	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
16時	13	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17時	13	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0
18時	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
20時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不定期	14	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
無回答	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53

4) 日常的に自家用車を利用している人の概要

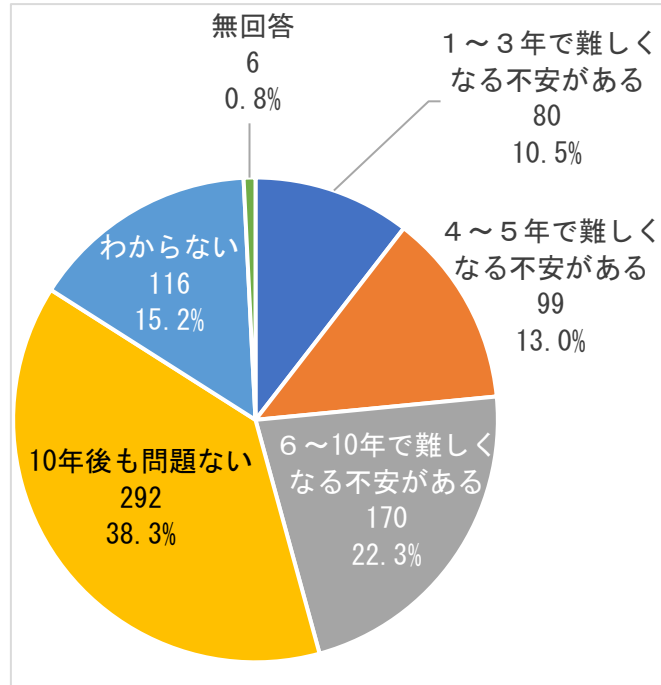
(1) 自家用車の利用形態

図：自家用車の利用形態

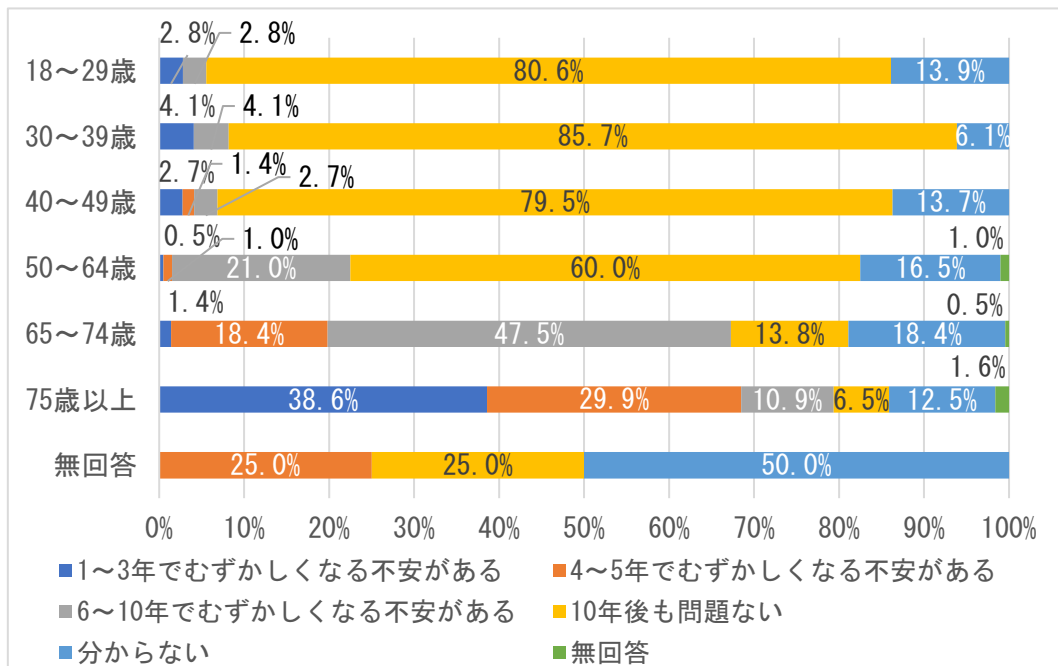


(2) 自家用車利用の将来について

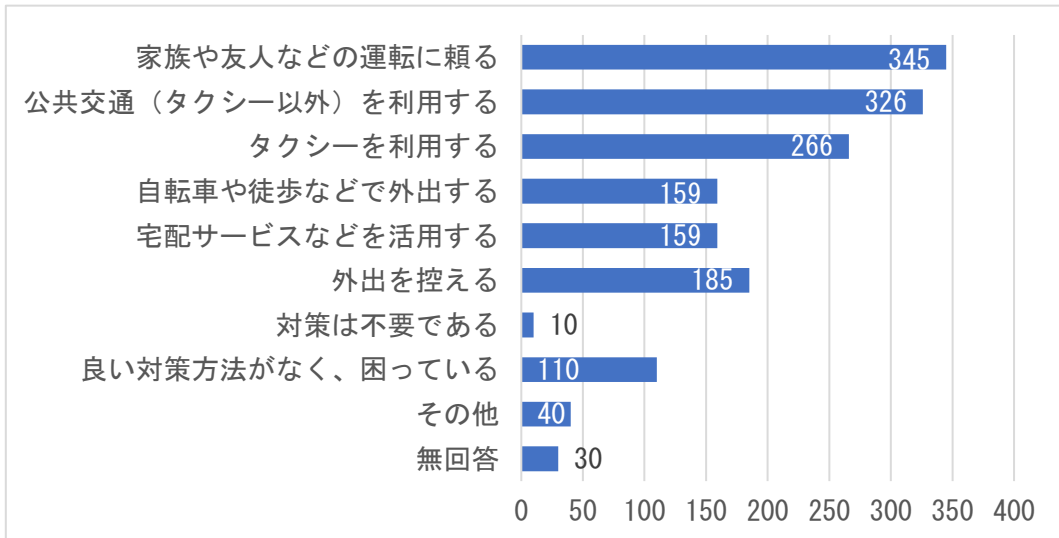
図：自家用車利用の将来について



図：自動車利用の将来に対する不安について、年齢層別にクロス集計



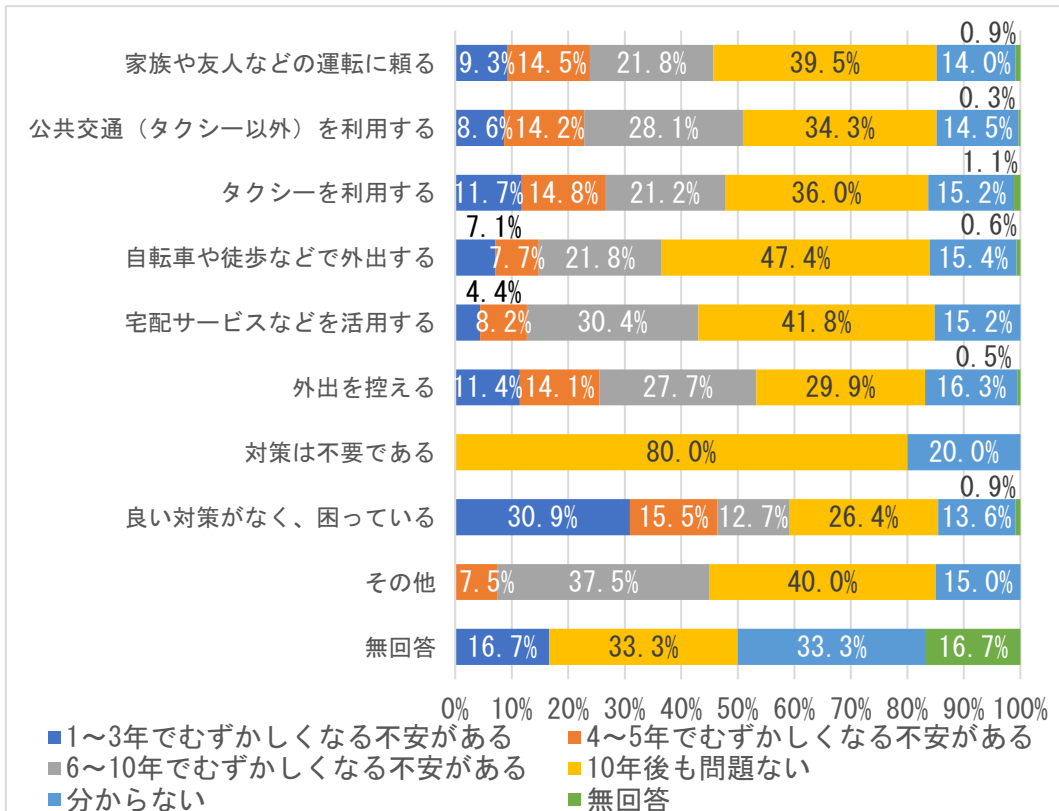
図：その対策について



【その他の回答の回答例】

- ・コミュニティバスの利用
- ・自転車の利用
- ・シニアカーの利用
- ・インターネットや生協、移動販売の利用
- ・便利な場所便利な場所への引っ越し
- ・特に対策は考えていない

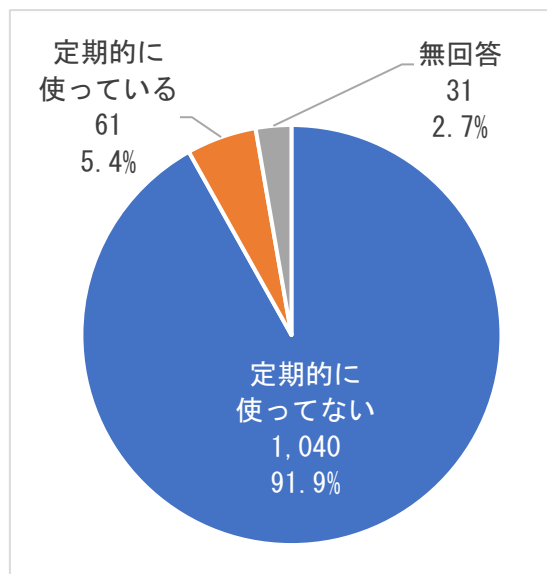
図：自動車利用の将来に対する不安について、その対策とクロス集計



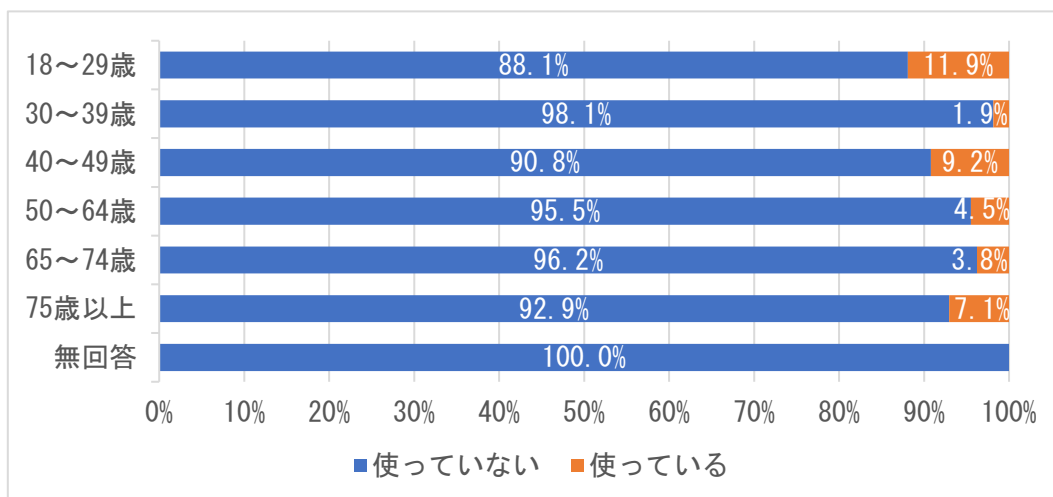
5) 回答者自身の外出手段としての公共交通利用

(1) 四万十町内における鉄道の利用

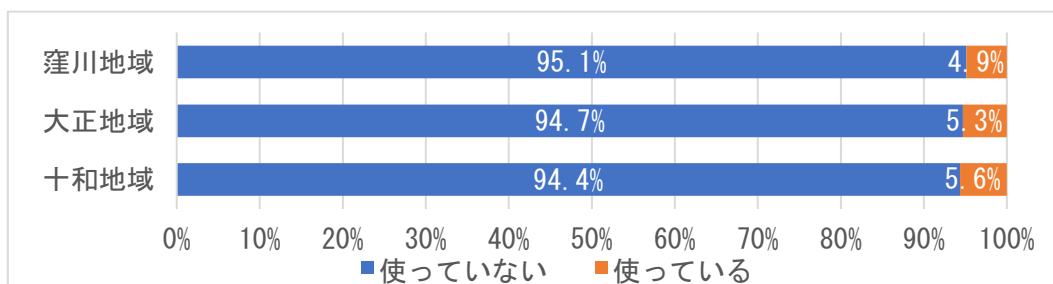
図：町内での鉄道利用経験



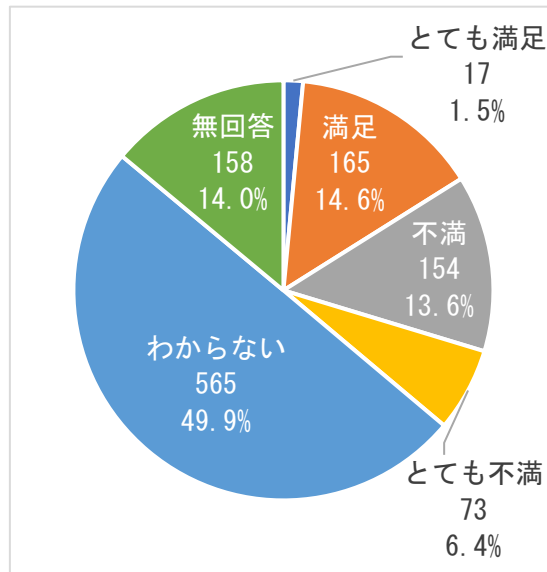
図：町内での鉄道利用経験について、年齢別にクロス集計



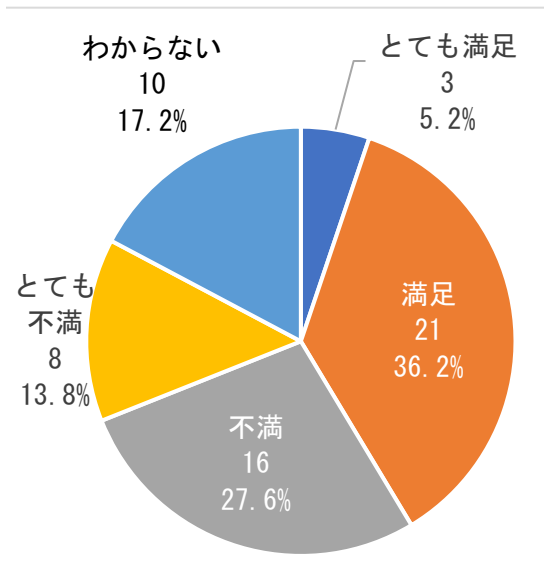
図：町内における鉄道利用経験について、住まいの地域別にクロス集計



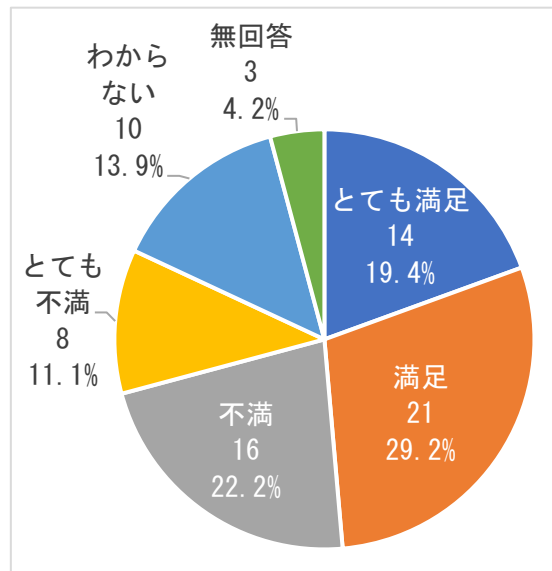
図：町内における鉄道に対する満足度



図：町内で鉄道を利用したことのある人の鉄道に対する満足度

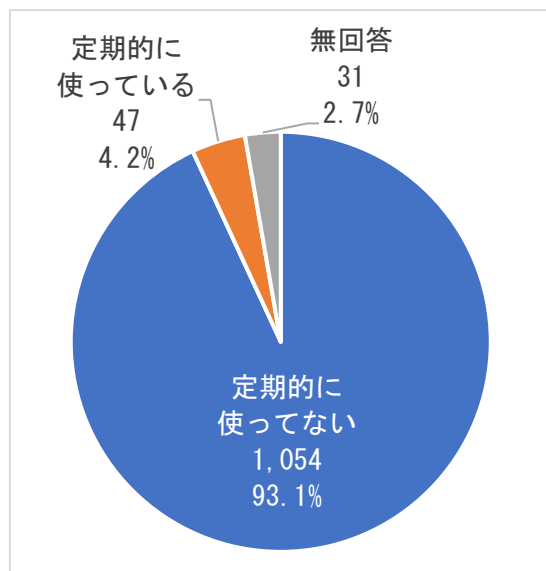


図：町内で鉄道を利用したことのない人の鉄道に対する満足度

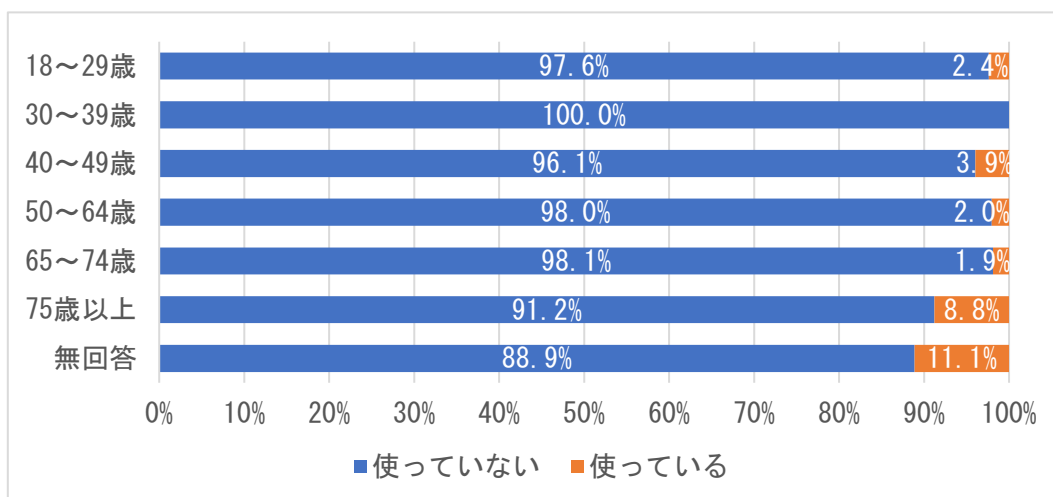


(2) 四万十町内における路線バスの利用

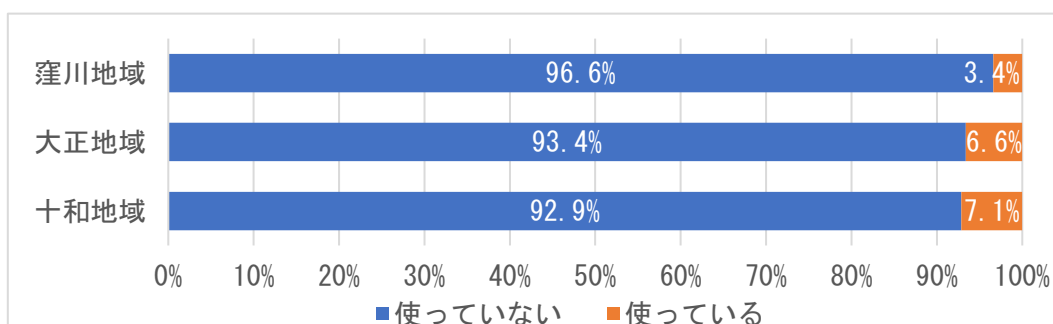
図：町内での路線バス利用経験



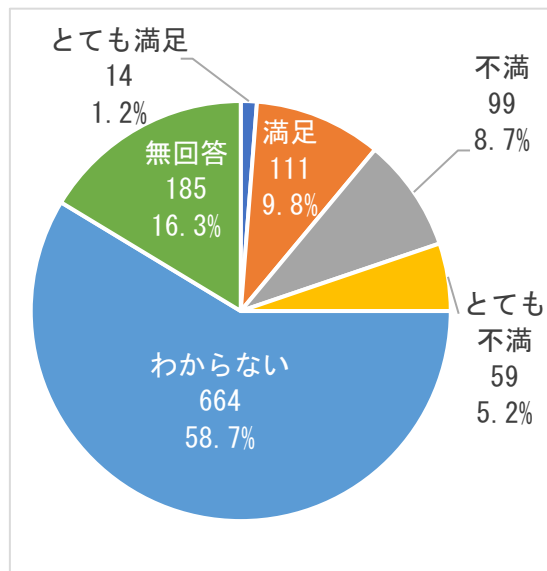
図：町内での路線バス利用経験について、年齢別にクロス集計



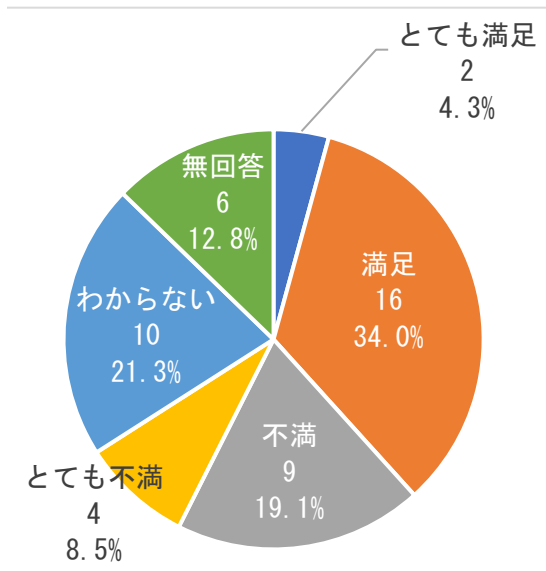
図：町内における路線バス利用経験について、住まいの地域別にクロス集計



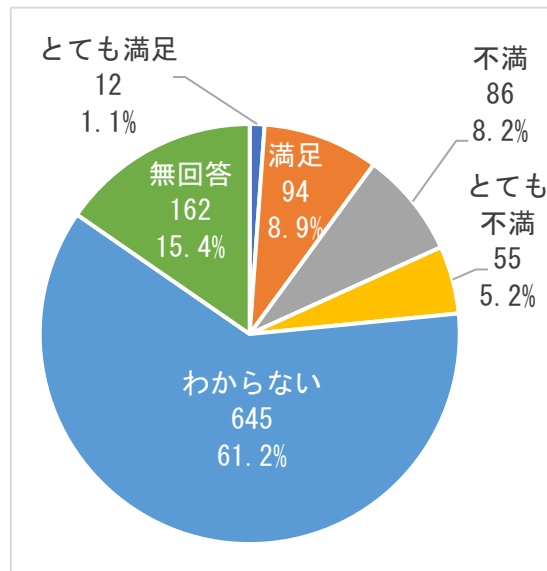
図：町内における路線バスに対する満足度



図：町内で路線バスを利用したことのある人の路線バスに対する満足度

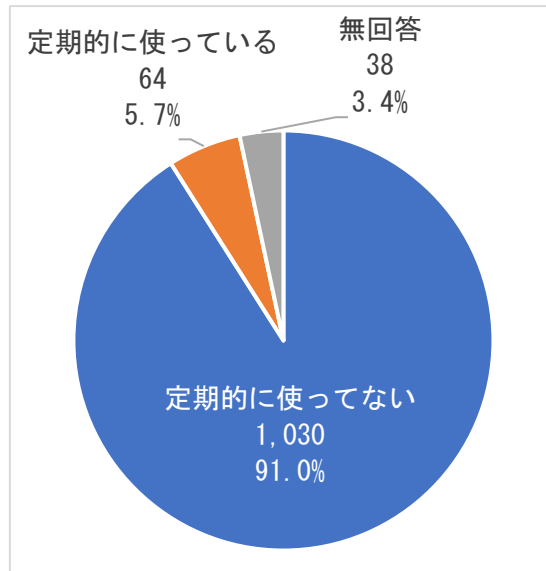


図：町内で路線バスを利用したことのない人の路線バスに対する満足度

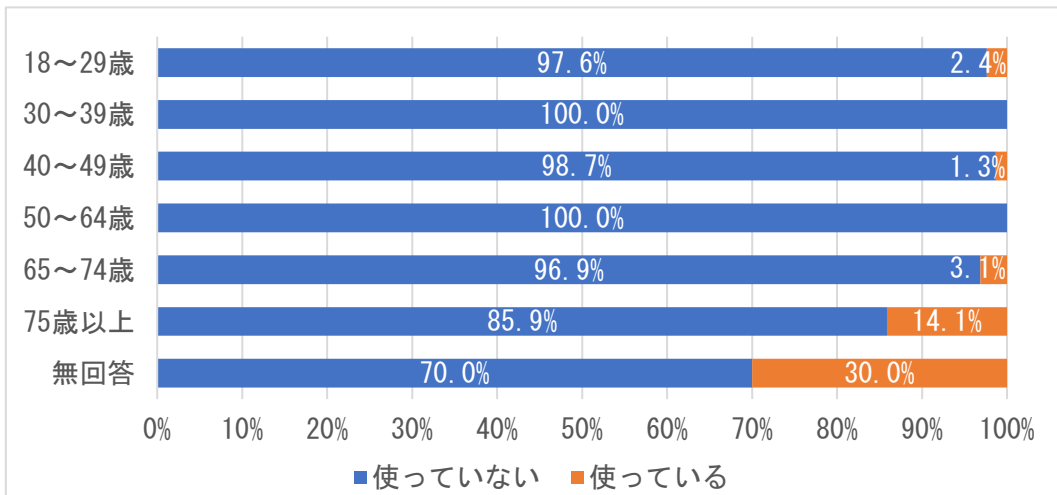


(3) 四万十町内におけるコミュニティバスの利用

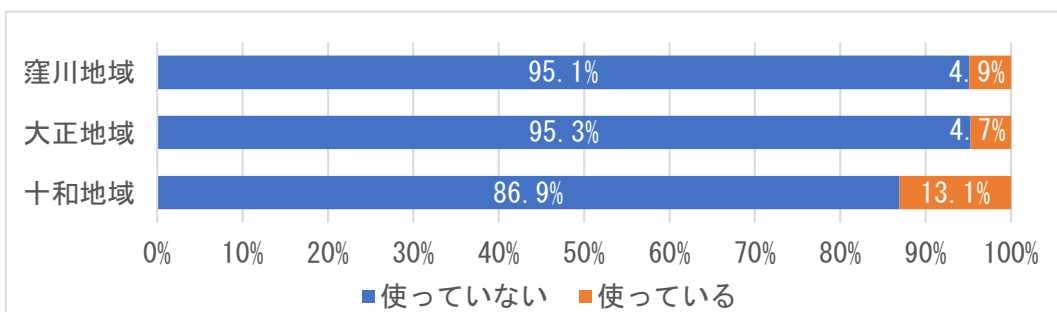
図：町内でのコミュニティバス利用経験



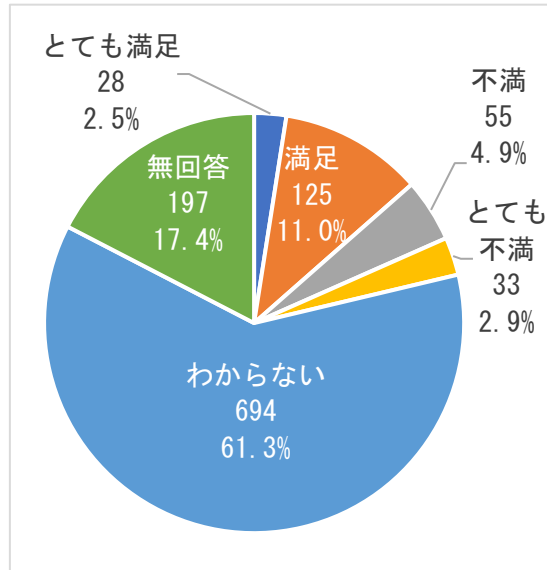
図：町内でのコミュニティバス利用経験について、年齢別にクロス集計



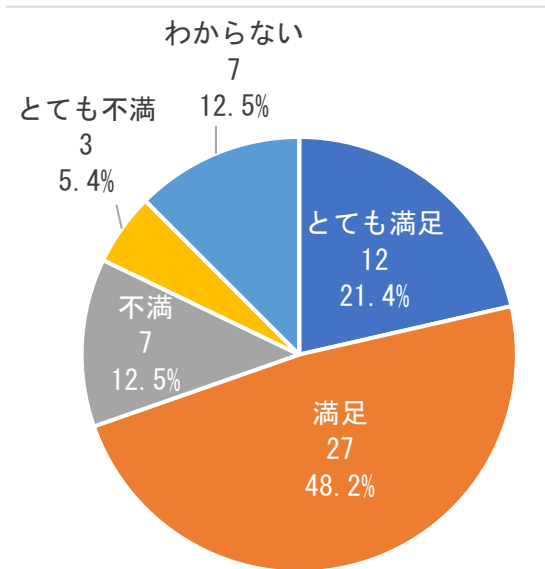
図：町内におけるコミュニティバス利用経験について、住まいの地域別にクロス集計



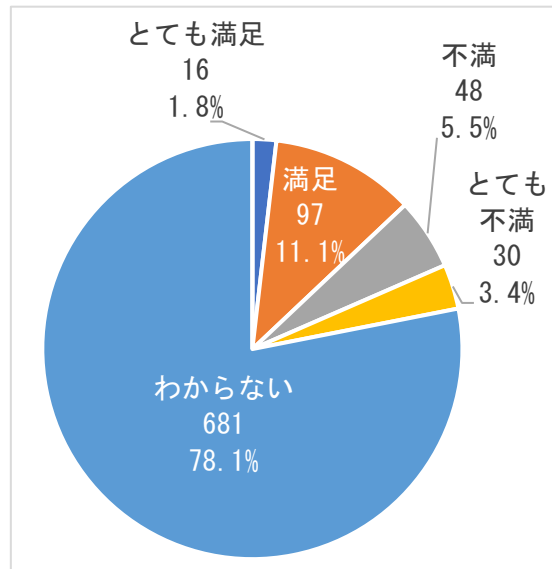
図：町内におけるコミュニティバスに対する満足度



図：町内でコミュニティバスを利用したことのある人のコミュニティバスに対する満足度

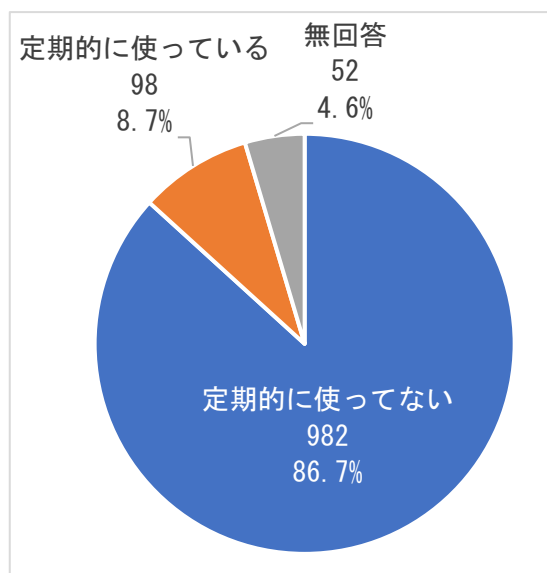


図：町内でコミュニティバスを利用したことのない人のコミュニティバスに対する満足度

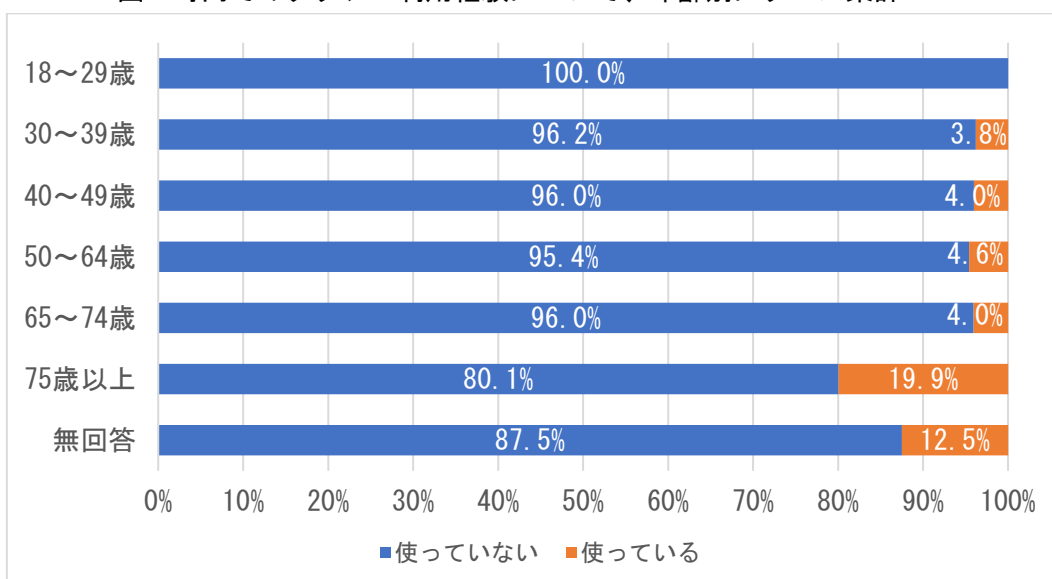


(4) 四万十町内におけるタクシーの利用

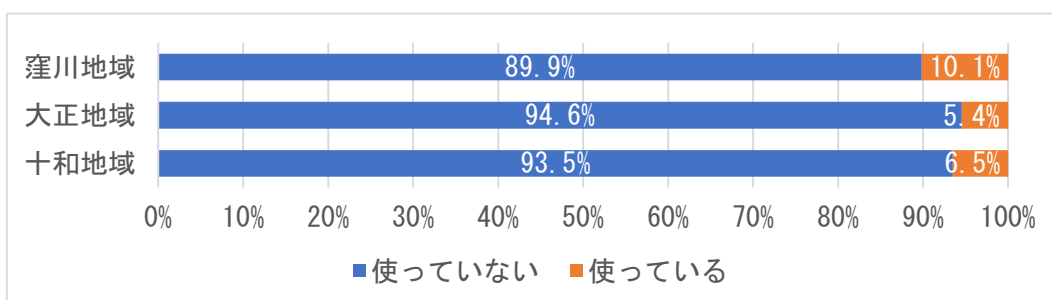
図：町内でのタクシー利用経験



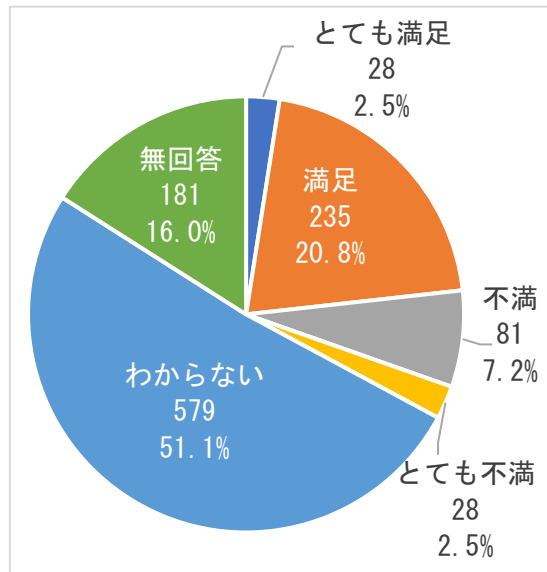
図：町内でのタクシー利用経験について、年齢別にクロス集計



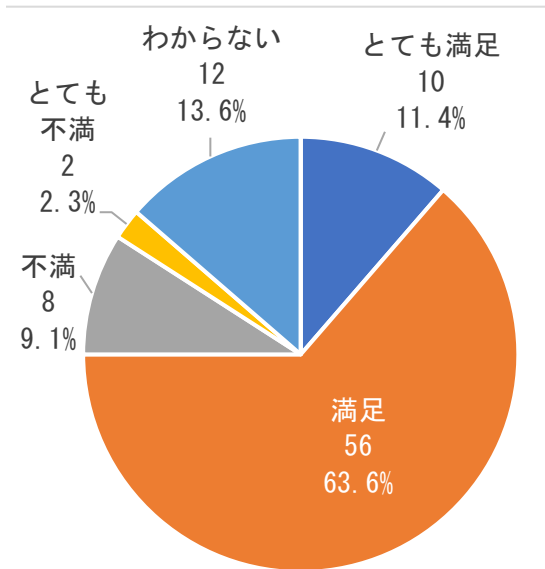
図：町内におけるタクシー利用経験について、住まいの地域別にクロス集計



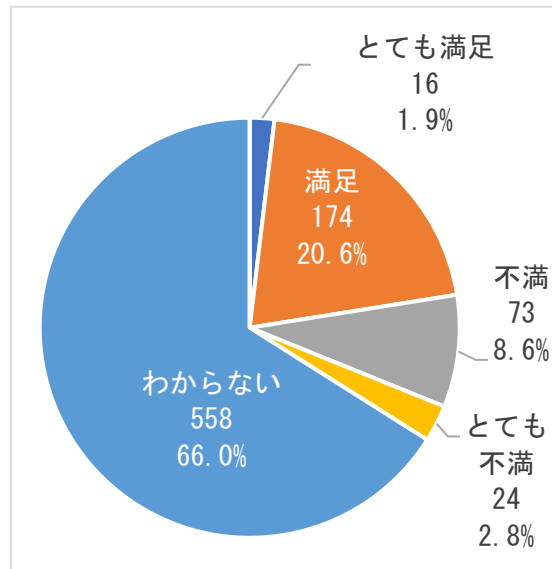
図：町内におけるタクシーに対する満足度



図：町内でタクシーを利用したことのある人のタクシーに対する満足度



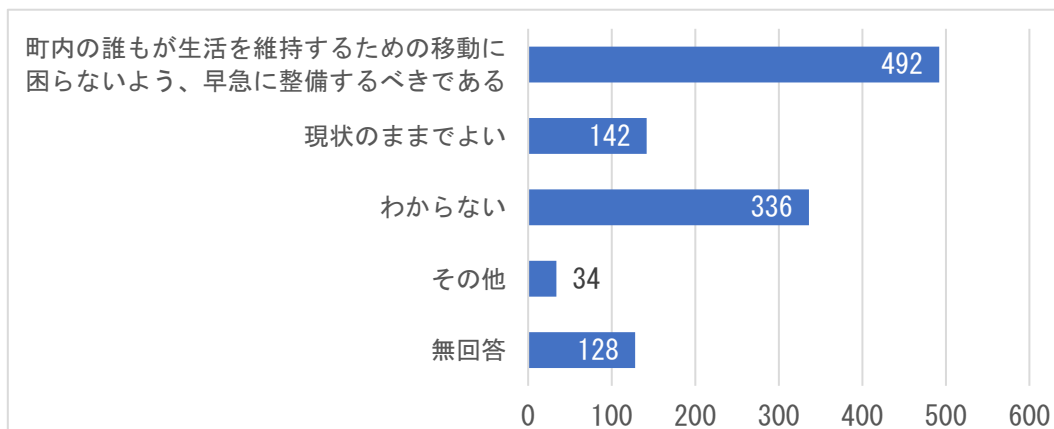
図：町内でタクシーを利用したことのない人のタクシーに対する満足度



6) 回答者の考える町内の公共交通機関のあるべき姿について

(1) 四万十町内における公共交通整備について

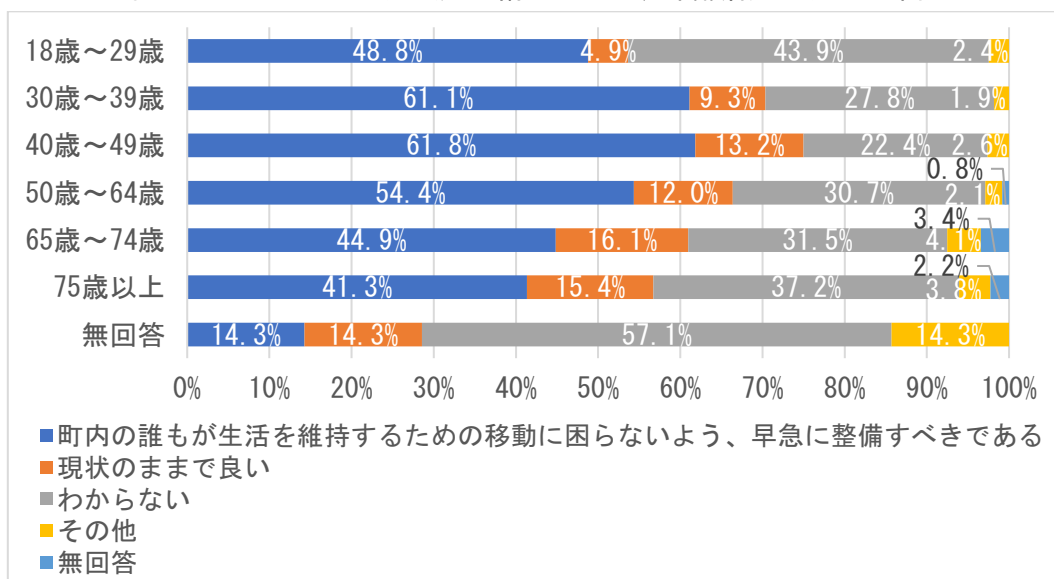
図：町内における公共交通整備について



【その他の回答の回答例】

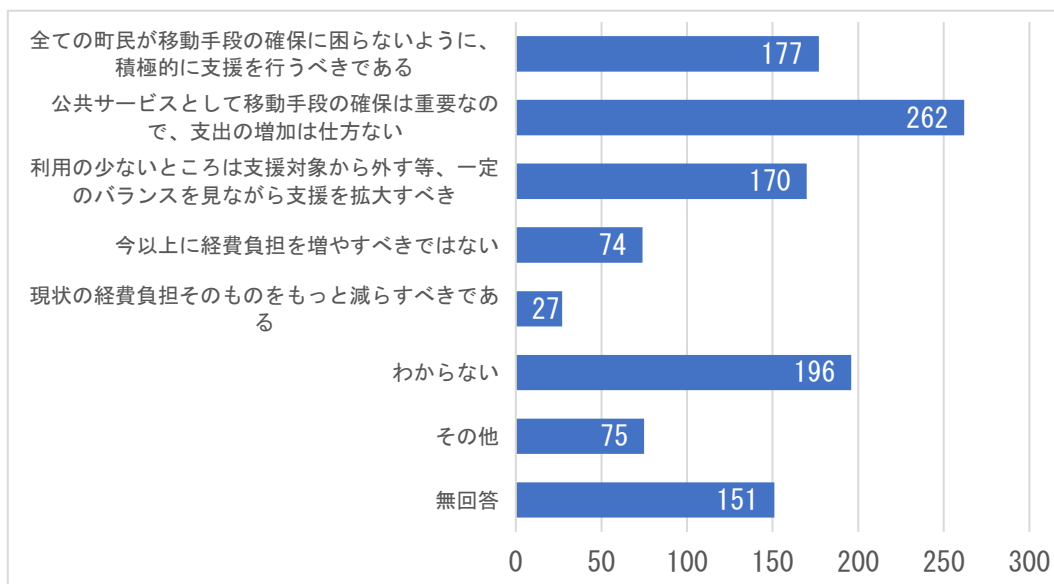
- ・高齢者等の移動手段がない人のことを考えて整備すべき
- ・地域の実状に沿って整備すべき
- ・町にあまり負担をかけてもいけない
- ・J R ・バス・タクシーのバランス整備
- ・コミュニティバスの運行追加、タクシーの追加料金の減額補助

図：町内における公共交通整備について、年齢層別にクロス集計

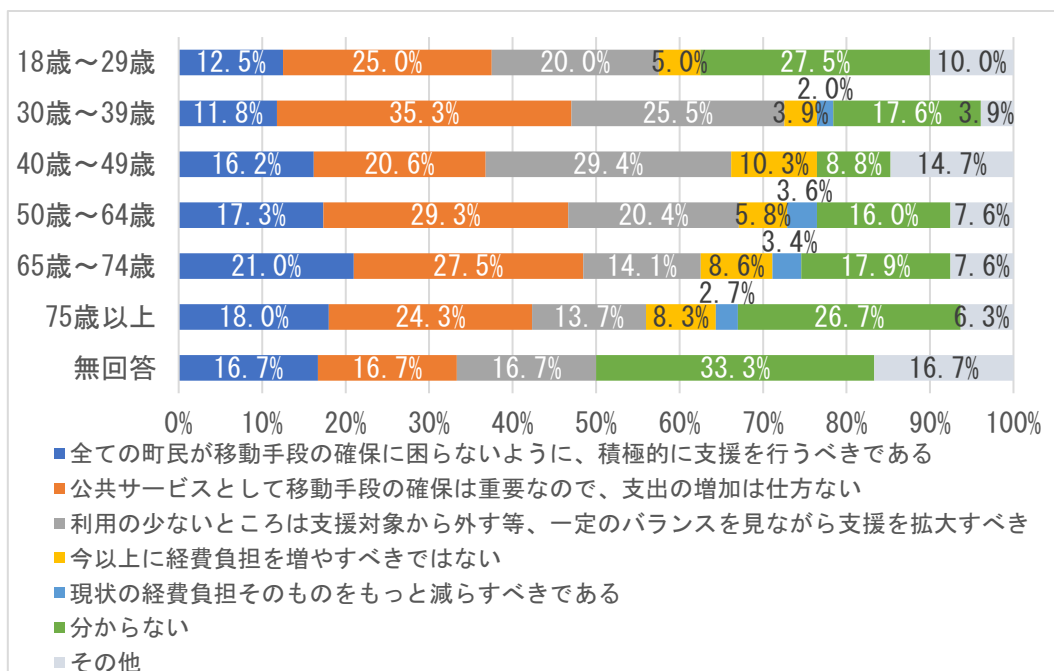


(2) 公共交通整備にあたり、行政が負担する経費の増加について

図：公共交通整備にあたり行政が負担する経費の増加について



図：公共交通整備にあたり行政が負担する経費の増加について、年齢別にクロス集計



2. 通学に関するアンケート調査

1) 通学アンケート調査の実施概要

(1) 調査の目的

本町の中学校及び高等学校に通学する生徒を通じて、現役世代の保護者が考える移動手段の在り方と、子どもの通学に関する不安や要望、危険箇所などを把握することを目的とした調査。

(2) 対象者

町内の中学校及び高等学校に通学する生徒の保護者を対象とし、調査票への記入時には子どもと話し合いながら書いてもらうように依頼した。

(3) 調査の実施方法

学校から生徒にアンケート調査票と依頼文書を専用封筒に入れて配布してもらい、一定期間（約2週間）経過後に学校に提出してもらったアンケート調査票を回収した。

(4) 実施スケジュール

9月9日	役場を通じて各学校にアンケート調査票一式を配布
9月24日	保護者が生徒を通じて学校に提出

(5) 回収数と回収率

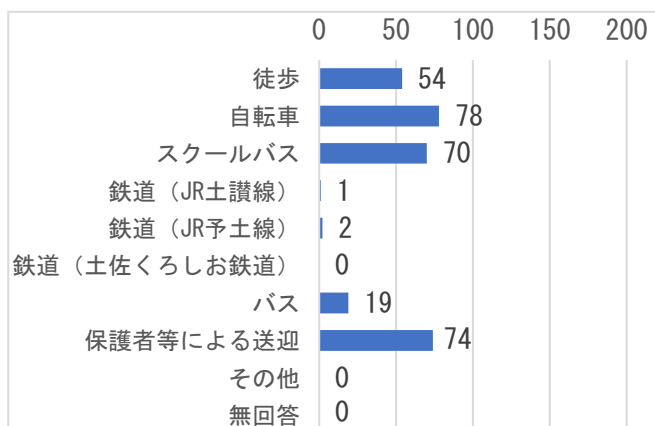
学校	配布数	回収数	回収率
窪川中学校	255 票	155 票	60.8%
興津中学校	4 票	3 票	75.0%
北ノ川中学校	16 票	15 票	93.8%
大正中学校	37 票	22 票	59.5%
十川中学校	39 票	32 票	82.1%
中学校集計	351 票	227 票	64.7%
窪川高等学校	77 票	67 票	87.0%
四万十高等学校	58 票	47 票	81.0%
高等学校集計	135 票	114 票	84.4%

次頁より、アンケート調査結果をとりまとめる。

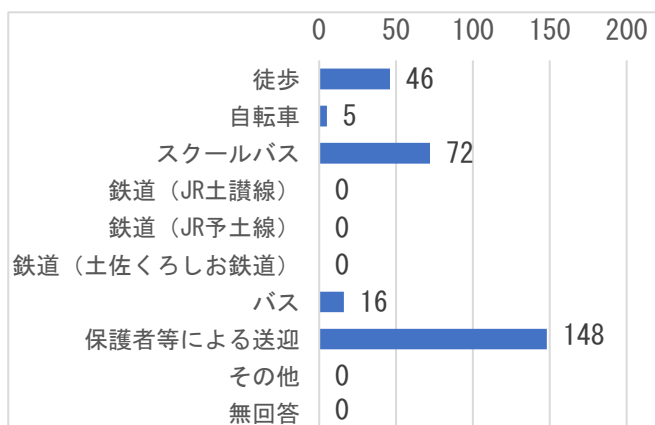
2) 通学の手段 [中学校集計]

(1) 登校 [複数回答可]

晴天時

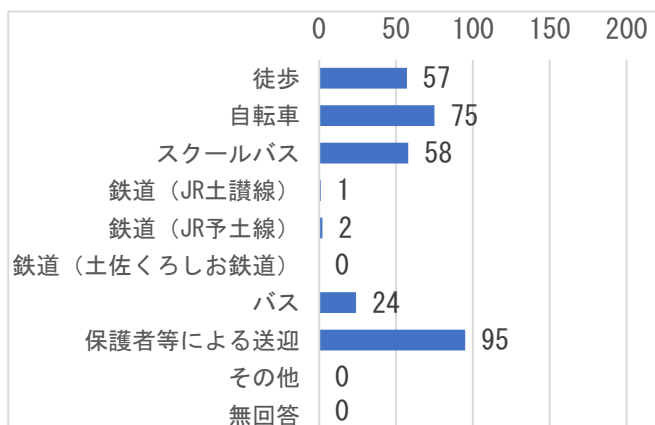


荒天時

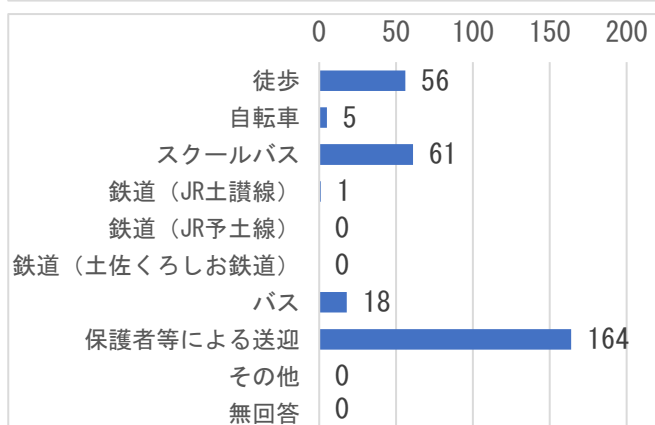


(2) 下校 [複数回答可]

晴天時



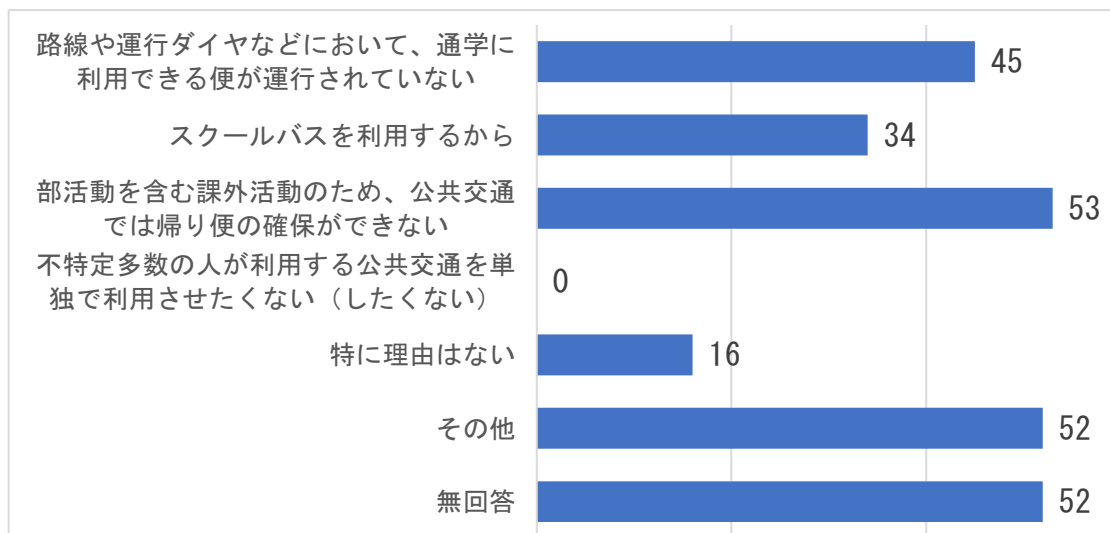
荒天時



3) 通学に公共交通（鉄道、バス）を利用していない理由

（通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可）

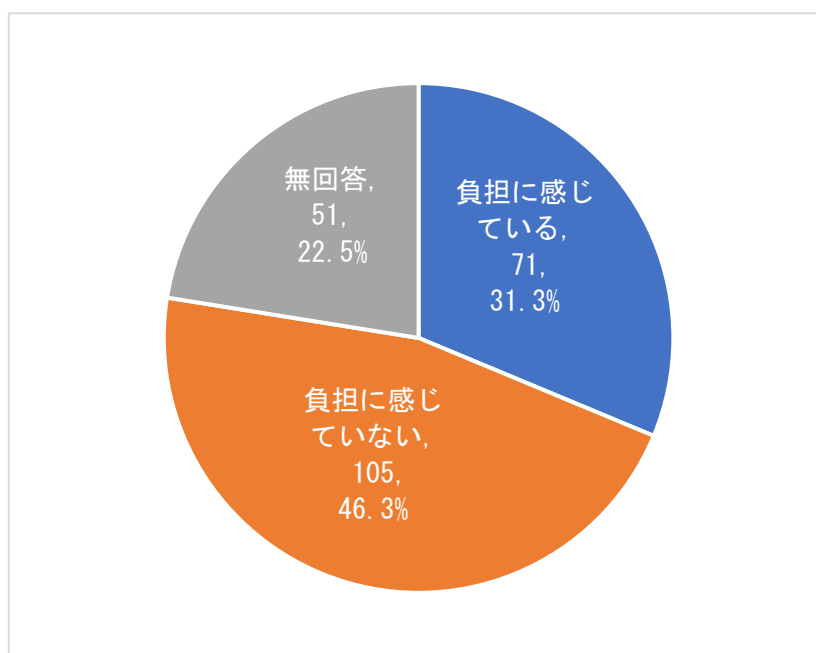
図：通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他 ※重複の内容は省く

- ・ 自宅付近の停留所でスクールバス、公共交通（バス）が利用したい時間がない。
- ・ 徒歩で通学出来る距離である。
- ・ 自転車のほうが便利。
- ・ 親の仕事の時間とだいたい合う為、送迎ができる。
- ・ 休日の部活では、時間が不規則なため路線バスの時間を探すよりも親の送迎で行き来する方が便利。

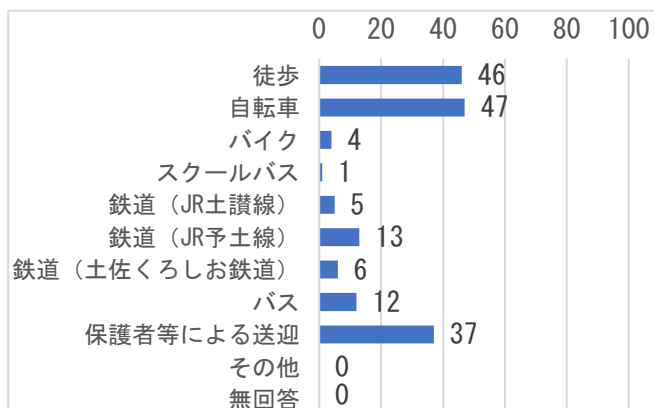
4) 子どもの通学について負担に感じていること



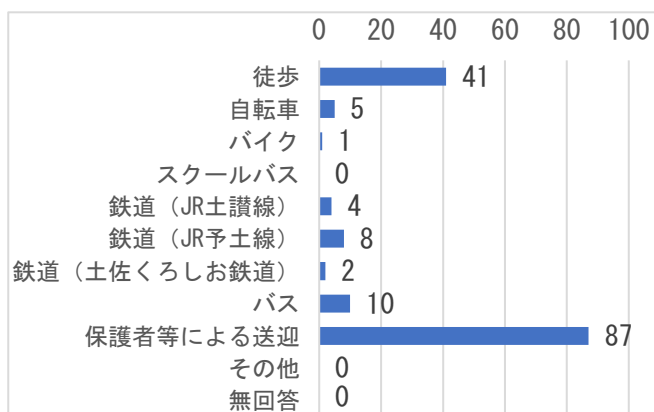
5) 通学の手段 [高校集計]

(1) 登校 [複数回答可]

晴天時

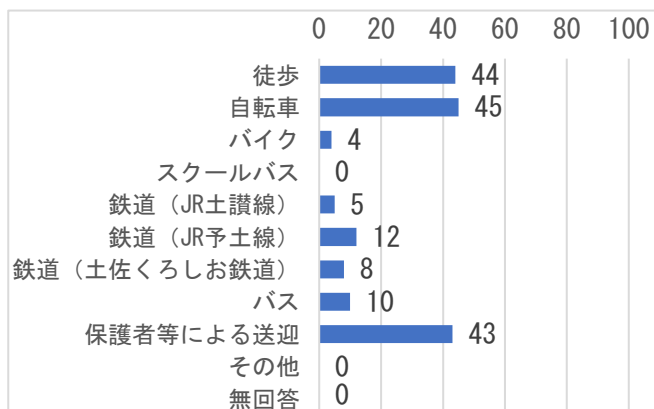


荒天時

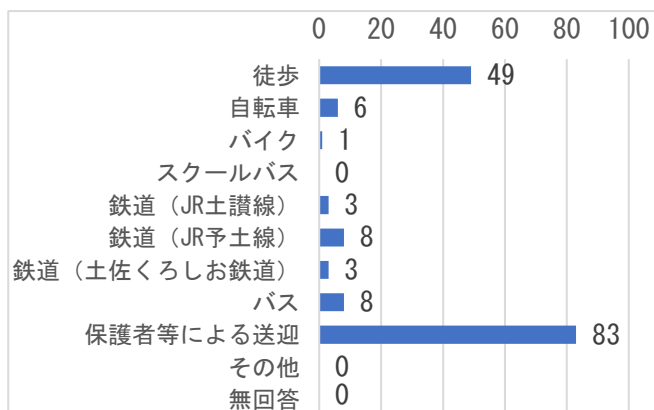


(2) 下校 [複数回答可]

晴天時

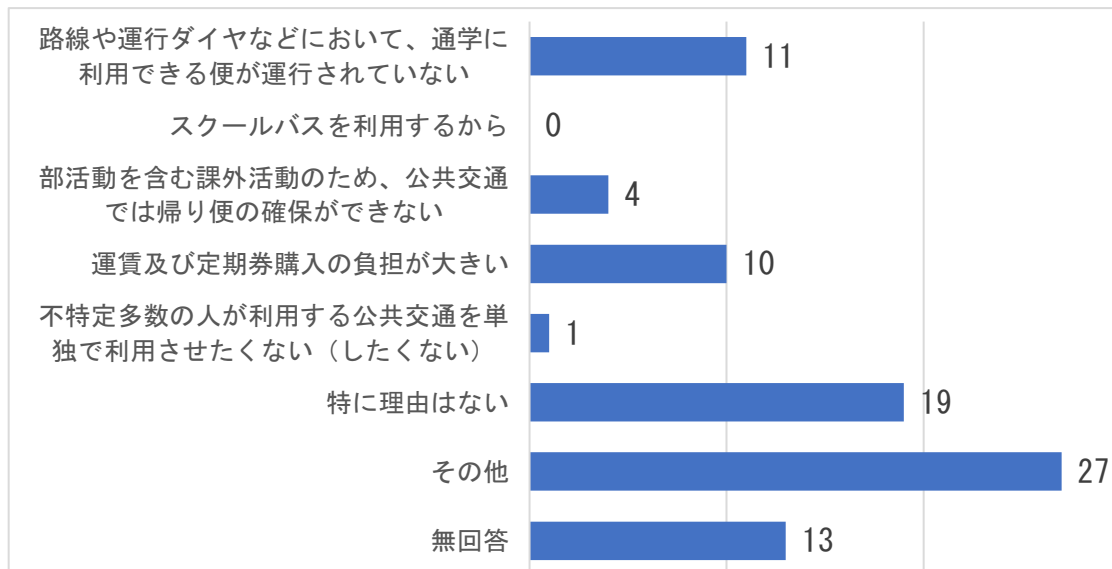


荒天時



6) 通学に公共交通（鉄道、バス）を利用していない理由
 (通学に公共交通を使っていないと記入した人のみ回答可)

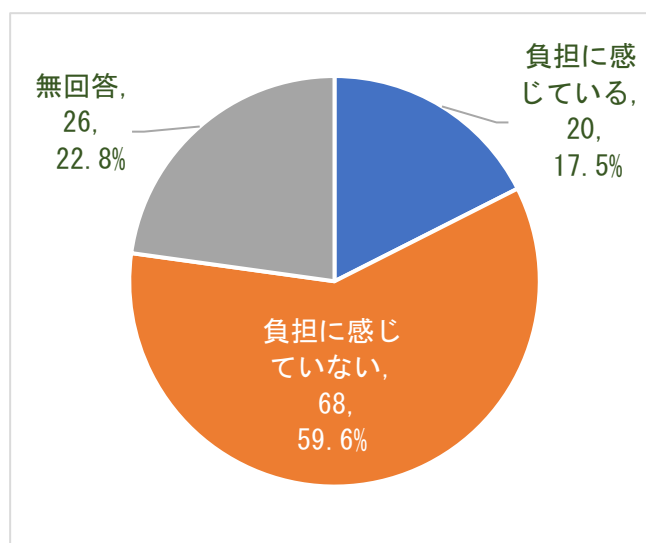
図：通学に公共交通を利用していない理由 [複数回答可]



その他※重複の内容は省く

- ・家が近い。
- ・駅は遠く、バスは人が多くて乗れない。
- ・家族の者が町内で勤務の為、家を出る時間が同じくらいだから。
- ・自分の気に入った時間に登校したい。
- ・バスに乗る習慣がない。

7) 子どもの通学について負担に感じていること



3. 各種ヒアリング調査

1) 地区別意見交換会及びフォローアップヒアリング

(1) 調査の目的

現在公共交通空白地区になっているか、もしくはそれに近い状態である地区を対象として、住民と直接意見交換を行い、今後の取り組み検討につなげるための意見交換会を実施した。

(2) 調査の実施手法

地区に意見交換会の実施を呼びかけ、1ヶ所当り 60 分程度を目安として実施した。

意見交換会の進行
説明、関係者自己紹介
会場全体でアンケート回答
スライドによる事業概要説明 ・ 四万十町内での公共交通整備紹介 ・ 地域公共交通網形成計画の説明
質疑応答 ・ 日頃感じている移動手段確保に関して困っていること ・ 移動手段確保に関する意見や要望
地区内に居住している話をうかがうべき移動制約者について情報収集
終了の挨拶

(3) ヒアリング結果のまとめ

次頁より、地区別意見交換会及びフォローアップヒアリングの結果をとりまとめる。



写真：各地における意見交換会の様子

小野地区 [十和]

日時：令和元年9月10日（火） 10:00～11:20

会場：小野集会所

参加者：16名（男性4名 女性12名）

■ 日常生活維持のために

- ・移動販売としてライフショップ松下が毎週水曜日に来てくれている。
- ・車を持っている人は、愛媛県の広見や松野町へ行っている。量販店だけでなくホームセンター等が集まっているので便利が良い。
- ・十川の彦市に行くが、駐車場が狭く利用しづらい。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・なんとか車を利用して生活を維持している状況である。
- ・車を運転しない人（免許証を返納した人）が増加している。
- ・地区は上から下まで広く、また高低差もある。対岸に渡る橋の近くに住んでいる人はまだいいが、地区の上の方や橋から遠い地区に住んでいる人で移動手段を持たない人は本当に困っている。
- ・冠婚葬祭時の送迎や診療所の通院送迎バス等は、小野地区側の橋周辺が集合場所となっている。
- ・予土線を利用することはない。十川駅は階段があり、高齢者の利用にはむかない。また、十川駅や土佐昭和駅までの移動手段がそもそも限られている。十川駅を使う時は地域振興局に駐車することがある。
- ・橋を渡ってコミュニティバスを利用している。便によっては50分程度で買い物ができる時間があるので彦市に行っている。十川は郵便局から十和地域振興局までが遠く不便である。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・十和地域を運行しているコミュニティバスを小野地区にも導入して欲しい。ただし、地区内全域で利用できる仕組みでないと恩恵を受ける人は限られる。
- ・1週間に1日だけの運行であってもそれに生活を合わせられるので、コミュニティバスを運行してもらいたい。

下津井地区 [大正]

日時：令和元年9月11日（水） 10:00～11:30

会場：下津井公民館

参加者：14名（男性3名 女性11名）

■ 日常生活維持のために

- ・路線バスの運賃は片道 740 円で四万十町福祉タクシー・バス利用券もすぐに足りなくなってしまう。
- ・振動病のために下津井から2名が毎日診療所に通っている。
- ・買い物は、路線バスで出かける人は大正のフードセンター。車を利用できる人は窪川のしまんとハマヤ、みやた、よどやドラッグ、ホームセンターなどに出かける。
- ・大正フードセンターは毎週水曜日に割引をしている。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・大正診療所の通院送迎バスが月に2回運行しているが、自分で利用できる内は路線バスを利用している。午前の便で出かけると帰りの便まで時間が空いてしまう。お昼の便で出かけるとあまり待たずに帰りの便を利用できる。
- ・路線バスは1日に3往復の運行しかないため、用事がすぐに終わった場合帰り便を待たなくてはならない。大正の中心部ではすることが無いので待ち時間が困る。
- ・バスへの乗降が大変であるが、腕力でなんとか乗り降りしている状況である。
- ・バスに乗れない人は入院している。
- ・地域外からの来訪者は、蛍のシーズンにはいるが普段はいない。
- ・同じ下津井地区ではあるが、バス停まで約2kmを歩かなくてはならない。
- ・下津井からバスで出かけても、窪川行きの予土線に接続できなくなっているため、今は家族運転の車で出かけている。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・現状の路線バスが無くなってしまうと困る。毎日病院に通っている人もいることから、平日は毎日運行してもらいたい。（土日祝日を運休にするのは構わない）
- ・土佐大正駅で窪川方面行きのJR予土線か路線バスに接続してもらいたい。
- ・乗り換えには10分は余裕のある運行ダイヤとしてもらいたい。

下道地区 [大正]

日時：令和元年9月11日（水） 14:00～15:30

会場：下道集会所

参加者：9名（男性5名 女性4名）

■ 日常生活維持のために

- ・大奈路の三谷が火曜日に移動販売に来てくれている。
- ・病院には診療所の通院送迎バスを利用している。
- ・車の使える家庭では、車での外出となる。
- ・郵便局が荷物を取りに来てくれている。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・現状の路線バスは夕方だけの運行であり、以前運行していたスクールバスの名残のままとなっている。集落までバスが上がってこないため、利用したくてもできない。
- ・車がないと生活できない地区である。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・毎日でなくていいので、大正まで出られ、さらに乗り換えて窪川まで出かけられる公共交通を要望したい。
- ・乗り換えには15分は余裕が欲しい。
- ・新しい形での運行が実現するとしても、上の集落まで入ってきてもらえる路線としてもらいたい。

奥打井川地区 [大正]

日時：令和元年9月12日（木） 9:00～10:20

会場：打井川地域づくりセンター

参加者：7名（男性2名 女性5名）

■ 日常生活維持のために

- ・高橋内科の送迎が月に1回水曜日にある。タクシー車両なので最大5人まで利用できる。
- ・最近、とくし丸の移動販売が木曜日に地区に入ってきてくれている。
- ・地区住民の大半は車で窪川に買い物などの用事に出かける。以前より窪川方面と繋がっている。
- ・子どもたちは四万十交通の路線バスで通学していたが、2～3年前から町が運行するスクールバスに変わっている。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・四万十交通の路線バス（奥打井川方面）は、以前はスクールバスを兼ねた混乗可能な運行であったが、専用のスクールバスが運行を開始したにも関わらず以前と同じ運行を行っている。子どもたちの通学の時間と高齢者のお出かけの時間が合わないので、実際利用しづらいダイヤのままとなっている。朝早い便の後、夕方に2便運行している現状では利用したくても使えない。
- ・土曜、日曜、そして夏休み期間などはバスが運行しないので、移動手段の確保に困っている。
- ・奥打井川には独居の高齢者が多くなっている。移動手段の確保にも困難を来し始めた人が増加している。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・窪川方面にコミュニティバスを運行してもらいたい。週に1回では抵抗がある。せめて週に2回は運行してもらいたい。
- ・大正方面ではなく、窪川方面に運行してもらいたい。できればくぼかわ病院にもそのまま運行してもらいたい。

中打井川地区 [大正]

日時：令和元年9月12日（木） 11:00~12:00

会場：中打井川集会所

参加者：5名（男性3名 女性2名）

■ 日常生活維持のために

- ・買い物は木曜日に来てくれるとくし丸を利用している。近隣の友人が買い物に連れて行ってくれるなど、地区内の助け合いにも支えられている。
- ・高橋内科に月に1回行っている。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・中打井川の人は路線バスをほとんど利用していない。
- ・現状では家族の車や近所の助け合いでなんとかなっている。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・現状では家族の車や近所の助け合いでなんとか生活を維持できているが、近い将来を考えると不安が大きい。
- ・週に1回運行でコミュニティバスが来てくれると、とくし丸の利用と合わせて週に2回買い物が可能となる。
- ・今の路線バスのように毎日の運行でなくていいので、使いやすい時間帯に窪川方面におでかけできる移動手段を整備してもらいたい。

志和峰地区 [窪川]

日時：令和元年9月12日（木） 17:00~18:00

会場：志和峰集会所

参加者：12名（男性7名 女性2名）

■ 日常生活維持のために

- ・ サンプラザが木曜日に移動販売に来てくれている。
- ・ 月に数回志和からの路線バスを利用しているが、志和から乗ってくる人はほとんどいない。志和峰から路線バスに乗って中学校に通う子どもがいる。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・ 路線バスはスクールバス設定のダイヤで運行しているため、病院や量販店が開く前に中心部に到着するなど、高齢者が利用しやすい運行とはなっていない。
- ・ 町内に暮らしている家族に病院への移動を頼っている。
- ・ 窪川まで路線バスで片道530円、タクシーで2,500円かかる。行きは時間を合わせられるのでバスで出かけ、帰りはタクシーを利用する。窪川駅に早く着くため、病院が開くまで駅で待っている。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・ 窪川駅で高知方面行きの列車に接続してもらいたい。
- ・ バス車両の乗降時の段差が大きく、利用を妨げている要因にもなっている。
- ・ 志和峰の奥に独自の移動手段を持たない高齢者が暮らしている。今後このような人が増加してくるだろう。

興津地区 [窪川]

日時：令和元年9月26日（木） 10:00～11:30

会場：興津海の家

参加者：10名（男性2名 女性8名）

■ 日常生活維持のために

- ・興津の商店で買えるものは地元で買うようにしているが、それでも週に1回は窪川の量販店に行くことになる。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・車を運転できる人は車を利用して出かけている。車を利用できない人は路線バスや家族、知人の運転に頼るか、通院送迎バスを利用している。
- ・子どもの数が減り、高齢者が増加している。近い将来には移動手段の確保に困難を来す高齢者が大幅に増加するだろう。不安を持って生活している。
- ・通院送迎バスで出かけ、帰り便を待つ間に病院の近くで買い物を済ませてくる。
- ・現状の路線バスでは4便運行しているが、通学用の便もあるため高齢者には使いづらい運行となっている。朝の便で出かけると待つ時間が長くなるため、13:45のバスで出かけ、16:00のバスで帰ってくる。
- ・朝のバスで窪川駅に行き、9:07の普通列車に乗って高知へ行っている。特急列車を待っている間に普通列車が先に高知に到着する。窪川駅での接続がうまくいっていない。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・窪川駅で高知方面行きの特急列車に接続してもらいたい。
- ・浦分など、バスを使いたくてもバス停までの距離が長い所がある。地区内を細やかに運行するなど検討してもらいたい。
- ・週に1回でもいいので、利用しやすい時間帯に運行するコミュニティバスを走らせて欲しい。

志和地区 [窪川]

日時：令和元年9月26日（木） 14:00～15:30

会場：志和コミュニティセンター

参加者：20名（男性3名 女性17名）

■ 日常生活維持のために

- ・ 買い物のためにタクシーを使って窪川に行くときがある。
- ・ 水曜日に生協が来てくれる。利用する高齢者が増えてきている。移動販売は志和には来ていない。
- ・ 志和の魚屋も利用する。
- ・ 小学生用のスクールバスが東又まで運行している。中学生と高校生は現在はいないが来春から中学生が2人通学することとなる。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・ 出かける時は通院送迎バスを使い、帰りは窪川で買い物をしたタクシーで帰るなど工夫している。
- ・ 運転に自信が無いため、県道を使って久礼まで車で移動し、そこからJRに乗って高知市に移動している。
- ・ 車を使える家庭は車を利用しているが、車を利用できなくなると路線バスを利用しなければならない。しかし、現状では志和から路線バスを利用する通学生がいないのに、運行は通学ダイヤとなっているため、高齢者には利用しづらいバスとなっている。窪川に早く着きすぎる。
- ・ 路線バスは窪川駅で高知行き方面の鉄道との接続が悪いので使いづらい。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・ 窪川駅で高知方面行きの特急列車に接続してもらいたい。
- ・ 午前10時くらいに志和を出発する路線バス便を増便してもらいたい。

家地川地区 [窪川]

日時：令和2年1月10日（金） 14:00～14:30

会場：家地川集会所

参加者：16名（男性4名 女性12名）

■ 日常生活維持のために

- ・とくし丸の移動販売が来てくれているので助かっている高齢者がいる。

■ 現状における移動手段の確保について

- ・家地川駅に近い人や、路線バスが地区を運行している野地地区などでは、車に乗れなくなっても鉄道やバスを利用できる。
- ・家地川を通過して窪川方面に行くバスは朝の7時過ぎの便しかなく、窪川で降りてもスーパーは開いておらず、病院も待つ必要がある。
- ・家地川駅から川奥方面の集落では、車に乗れない人はタクシーを窪川から呼ぶしかない。往復で6,000円を超える状況である。
- ・サロンに出てきた時に買い物に連れて行ってもらっている。

■ 今後の移動手段確保のために

- ・現状の路線バスでは利用できない。毎日の必要はないので、家地川の全ての住民が利用できる運行にしてもらいたい。
- ・現状の路線バスをコミュニティバス（運行曜日は限定するが、その日は複数便運行）に置き換えることを検討してもらいたい。
- ・窪川病院やしまんとハマヤ、みやたなどに行きたい。

補完ヒアリング [一部を抜粋]

地区 対象者の概要	寄せられた意見
八木（十和） 高齢夫婦	<ul style="list-style-type: none"> 妻は免許を返納している。夫は運転できるがすでに運転に不安を感じている。免許が更新できる間は生活のためになんとか運転するつもりであるが、将来には不安を感じている。 今すぐというわけではないが、八木地区にもコミュニティバスの運行を入れて欲しい。周囲の高齢者には移動手段確保に困難を来している人が増えている。
八木（十和） 高齢男性 息子夫婦同居	<ul style="list-style-type: none"> 今は自分でなんでもできるが、将来には不安を感じている。運転出来なくなったら、八木入口（コミュニティバス停留所）まで歩くしか移動手段確保の方策はないと考えている。ここへのコミュニティバス延伸が実現すると安心できる。
八木（十和） 独居高齢女性	<ul style="list-style-type: none"> 昭和に娘がいるため、買い物など困っていることは今のところはない。 八木入口まで歩き、そこからコミュニティバスを月に1回くらいの割合で利用している。 まだ運転免許証は持っているが、遠出することはない。
八木（十和） 高齢男性	<ul style="list-style-type: none"> 障がいがあるため、姉が世話に来てくれている。 コミュニティバスを利用するために八木入口まで歩いている。八木までコミュニティバスが入ってきてくれると、ぜひ利用したい。
今成（十和） 独居高齢女性	<ul style="list-style-type: none"> これまでコミュニティバスの午前便を利用して買い物に出かけていたが、8月からダイヤが変わり、8:30の便で出かけても帰り便は11:00くらいになってしまう。彦市での買い物であれば1時間あれば充分。 ダイヤ変更後からは午後の便を利用するようにしている。少しの調整でまた午前に出かけられるのであれば、調整をしてもらいたい。同じような考えの高齢者は他にもいる。
小野（十和） 高齢男性	<ul style="list-style-type: none"> これまでは車を利用していたので公共交通を使ったことはない。買い物は車で彦市やハマヤ、遠くは近永や須崎にも出かける。 運転免許証は今年いっぱい終わる予定。その後は移動手段確保に困るが、小野地区にコミュニティバス的な移動手段が入ってきてくれるのであれば利用したい。
小野（十和） 高齢女性 息子と同居	<ul style="list-style-type: none"> 買い物は久保川の中平鮮魚店まで徒歩で出かけている。 同居の息子がおりに、大きな買い物はしてくれる。 今現在は移動手段の確保に困っているということはない。
小野（十和） 高齢女性	<ul style="list-style-type: none"> バイクを利用しており、買い物などはそのバイクで出かけられるので困っていることはない。 将来には不安も感じていることから、もし、コミュニティバスが小野地区にも運行してくれるのであれば、利用したいと考える。

地区 対象者の概要	寄せられた意見
小野（十和） 高齢独居女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道まで歩いて出て、コミュニティバスを利用している。 ・ 病院は十川の弟が宇和島まで連れて行ってくれている。
小野（十和） 高齢独居女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物はライフショップ松下の移動販売に助けられている。病院は診療所バスを利用するために、集落の下まで歩いている。 ・ 子どもは県外にいる。
小野（十和） 独居女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車で移動しており、買い物は中平鮮魚店まで行っている。 ・ 将来を考えると、移動手段確保には不安を抱いている。コミュニティバスを含めて新しい移動手段が整備されるのであればぜひ利用したいと考えている。なぜ小野地区にはコミュニティバスが運行していないのだろうと思っていた。

2) 関係者ヒアリング

(1) 病院施設

十和診療所
日時：令和元年9月19日（木） 10:00～10:30
<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none">・通院のためにコミュニティバスを利用している人は多い。診療所で通院送迎バスを運行しているが、コミュニティバスが運行しているところには走らせていない。・通院送迎バス用車両として、ハイエース（10人乗り）を1台運用している。・通院は平均して1日当たり60～70人程度。内、3～4人が通院送迎バスを利用している。・年間の運行スケジュールについては、毎年3月中旬に決定している。 <p>■ 現状における問題点</p> <ul style="list-style-type: none">・通院用バスの乗務員を直接雇用しているが、診療の時間帯が空いてしまい、もったいないと感じる。 <p>■ 今後のために</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者からの要望等はない。

大正診療所
日時：令和元年9月19日（木） 10:40～11:10
<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none">・通院送迎バスは完全予約制で運行している。制度に対して利用者から不満は寄せられていない。・通院送迎バスで買い物はできないが、診療が終わり帰るまでの空いた時間に買い物を済ますのは特に問題としていない。・通院送迎バス用車両として、ハイエース（10人乗り）を1台運用している。・通院は平均して1日当たり90～100人程度。内、4～5人が通院送迎バスを利用している。 <p>■ 現状における問題点</p> <ul style="list-style-type: none">・タクシーが田野々に無いため、帰りの移動手段を確保できない人がいる。 <p>■ 今後のために</p> <ul style="list-style-type: none">・通院に限らず、田野々中心部の短距離区間の移動に困難を来している高齢者が存在している。

くぼかわ病院
日時：令和元年9月19日（木） 13:30～14:00
<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none">・通院送迎バスは経路と時間を予め決めて運行している。・9人の乗務員が運行している。平均年齢は65歳前後。・利用の条件として、自身で乗降できることとしている。買い物をするための移動には使えない。 <p>■ 現状における問題点</p> <ul style="list-style-type: none">・多くの路線を運行していることもあり、29人乗りの車両を使って利用者が2名しかいないところにも行かなければならないことがある。・町と四万十交通で運行しているコミュニティバスの周知は出来ているのか。運行内容を知らない人がいるように感じる。 <p>■ 今後のために</p> <ul style="list-style-type: none">・通院送迎バスの運行に、多くの経費が掛かっている。町の取り組みとリンクすることで、利用者の利便性が下がることなく、経費を下げるのであれば一緒に取り組むことが可能。・通院送迎バスが運休することを町のケーブルテレビで案内してもらうことはできないか。

(2) 商業施設

大正フードセンター
日時：令和元年10月4日（金）
<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none">・店は7:30にはすでに店員が作業をしているため、その時間から購入は可能。閉店は19:30頃。ただし、冬期は早く閉める場合がある。・元日のみ定休としている。・火曜と金曜に卸しより商品が届く。木曜にはお菓子類が届く。順次品だしをしており、火曜は10:30頃、金曜は11:00頃より商品が揃う。ただしチルド類は12:00頃になる。・保育所（北ノ川、田野々）や四万十荘（デイサービスを含む）への食材供給も担っている。・葛籠川地区の人たちは車に乗れる人であってもコミュニティバスを使ってわざわざ買い物に来てくれる。コミュニティバスを将来に残すために、みんなで利用している。数人で買い物に来てくれるので、お茶を出している。・田野々地区内の人であれば、他のお客さんの状況によるが購入してくれた商品の配達を行う時がある。他の地区であっても電話注文や送迎を可能な時にはしている。・過去には下津井地区からの注文に、路線バスの小荷物輸送で商品を送っていたことがあった。今はしていない。
<p>■ 現状における問題点</p> <ul style="list-style-type: none">・人口の減少が顕著であり、将来がどのようなようになるのか不安である。・田野々地区内の移動について、短い距離であるもののタクシーもない現状では困っている高齢者が多くなっている。・高齢者が多いため、現金扱いのみとしている。
<p>■ 今後のために</p> <ul style="list-style-type: none">・田野々の商店街でイベントをやってもらいたい。合併してから様々な取り組みがされているが、ほとんどが窪川地域になっている。・今回の計画策定に伴う新しい取り組みの検討への参加は可能。

スーパー彦市十和店

日時：令和元年10月4日（金）

■ 現状

- ・店は8:30～19:00が営業時間であるが、店員が作業をし始める8:00くらいからおおよそ19:30まで購入は可能。
- ・元日のみ定休。
- ・サニーマートのフランチャイズであり、商品の補充は毎日なされている。
- ・サニーマートのフランチャイズということもあり、サニカ（楽天edy）を導入している。

■ 現状における問題点

- ・地域を運行しているコミュニティバスは必須の移動手段となっている。ただし、週に1日の運行ということで、その日に病院に行く場合は買い物しづらいなど課題はあると感じる。
- ・利用者の十川地区での動きは、彦市～JA～みよし屋というながれが多いと感じる。郵便局は遠い位置にあり、特に高齢者には買い物の荷物などが大変そうである。（彦市で預かっていた荷物をコミュニティバスに載せてあげる時がある）
- ・コミュニティバスに乗り遅れた高齢者を送ってあげたことがある。買い物はだいたい30分程度で済み、他の用事も合わせれば1時間程度の十川滞在で済むと思うが、コミュニティバスは路線によっては2時間以上運行が空くものがある。
- ・地域内で明らかに運転免許証の返納が増加しており、移動手段の確保に困難を来すようになるだろう。実際に現状で運転している人の中には、相当危険な人もいる。

■ 今後のために

- ・コミュニティバスの利用希望者がいることを乗務員に知らせる方法を検討したい。乗務員に利用者があることに気づいてもらうことで、高齢者の積み残し防止に繋げたい。
- ・十川の中心部に空き店舗を活用した沙龙的な待ち合い場所を整備したい。コミュニティバスや路線バスの空き時間を有意義に過ごすことができ、人との交流の場としても活用できる。
- ・離れた場所で暮らす人のために移動販売の取り組みも重要になってくると考える。
- ・今後は高齢者にも利便性を享受してもらうために、積極的にキャッシュレスを利用してもらうための取り組みが必要と感じている。